

カラーカメラ

取扱説明書

HDC4800

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

概要	3
システム構成	4
各部の名称と働き	5
前面（左）	5
前面（右）	6
後面	6
準備	9
レンズの取り付け	9
フランジバックの調整	11
ビューファインダーの取り付け	11
ケーブルクランプベルト（付属）の取り付け	13
ショルダーパッドの位置調整	14
三脚への取り付け	14
撮影のための調整と設定	16
ブラックバランス／ホワイトバランスの調整	16
電子シャッターの設定	17
フォーカスアシスト機能の設定	17
ダイナミックフォーカス機能の詳細設定	19
カメラ出力の設定	20
ビューファインダー画面上の状態表示	22
メニュー操作	23
メニュー操作の開始	23
ページの選択	24
メニュー項目の設定	25
USER メニューの編集	26
メニュー一覧	29
メニューツリー	29
OPERATION メニュー	32
PAINT メニュー	40
MAINTENANCE メニュー	44
FILE メニュー	47
DIAGNOSIS メニュー	49
付録	51
使用上のご注意	51
エラーメッセージ	51
USB メモリーの取り扱い	52
仕様	53
HDC4800	53
別売品／関連機器	54
外形寸法	54

概要

HDC4800は、新開発S-35mm 4K CMOSセンサー搭載のスーパーモーションビデオカメラシステムのカメラユニットです。ベースバンドプロセッサユニットBPU4800を接続することで、4Kフォーマットでは最大8倍速、HDフォーマットでは最大16倍速の撮像を可能にします。*

また、BPU4800をカメラコントロールユニットHDCU2000/2500に接続することで、カメラへの給電、インターカム機能など、システムカメラとしての機能や操作性を踏襲しています。

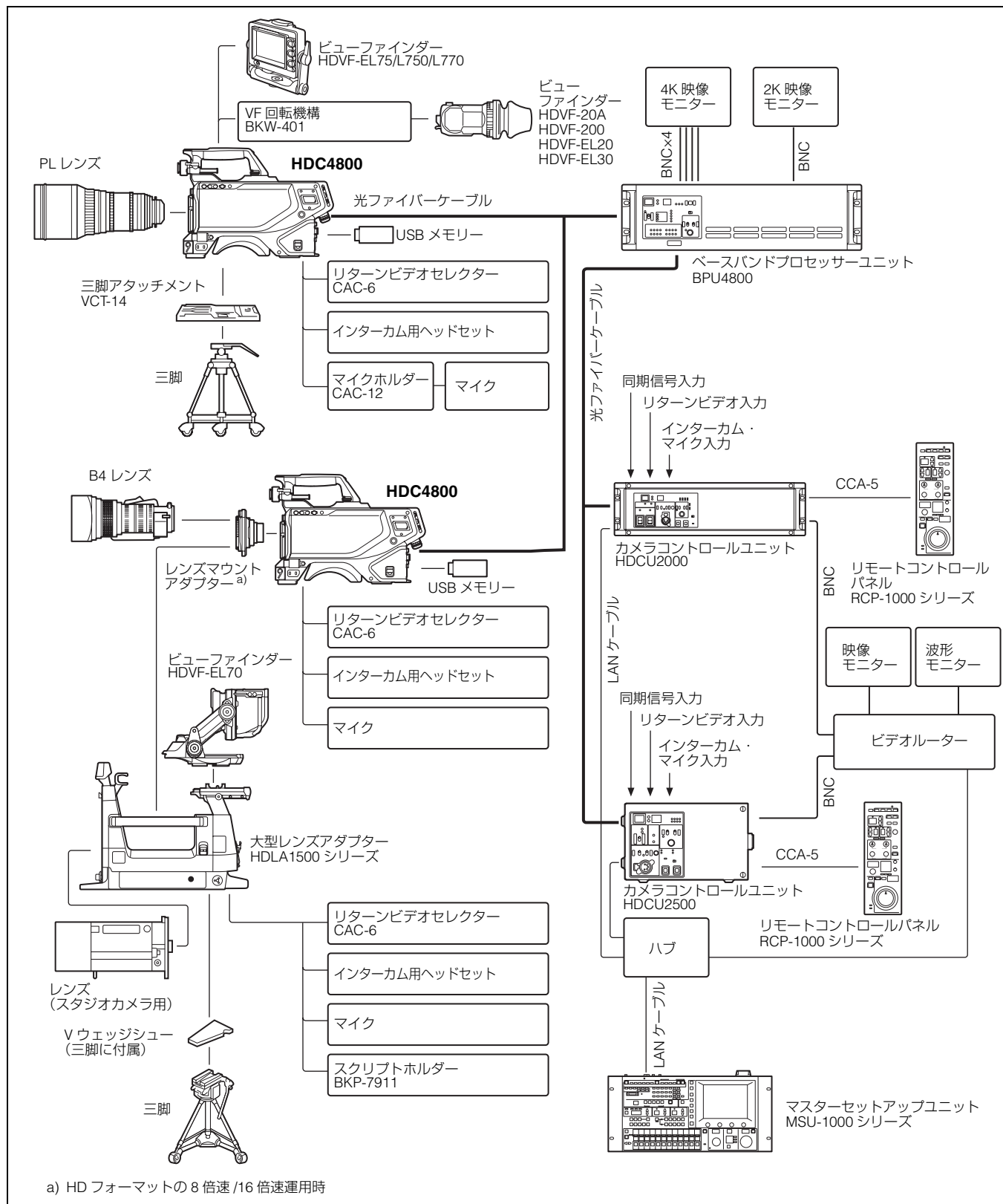
* HD フォーマットは、BPU4800 のバージョン V1.10 以降の対応となります。
詳しくはソニーの販売会社またはサービス担当者にお問い合わせください。

システム構成

ご注意

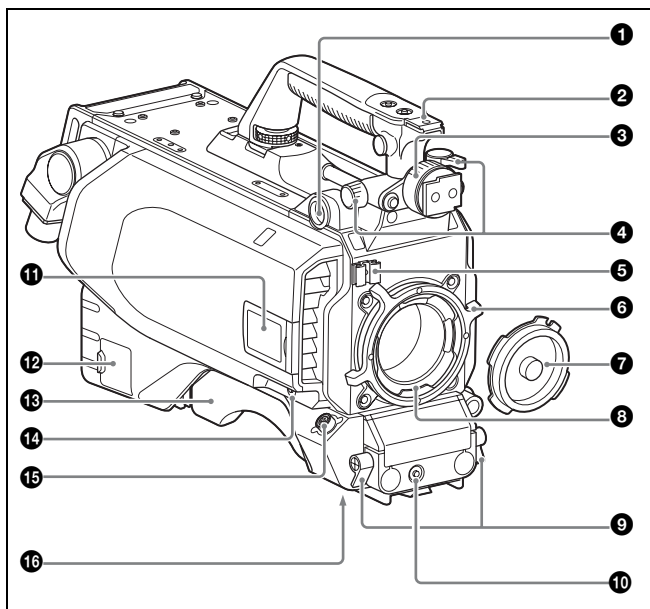
図に記載されている周辺機器や関連機器は、「生産完了」となっている場合があります。
機器の選定にあたっては、ソニーの営業担当者またはお買い上げ店にお問い合わせください。

接続例



各部の名称と働き

前面（左）



① VF（ビューファインダー）端子（20ピン）
ビューファインダー（別売）のケーブルを接続します。

② アクセサリーシュー
1/4インチネジで取り付けるタイプです。

③ ビューファインダー左右位置固定リング
ビューファインダーの左右位置をロックします。
位置を調整するときは、このリングをゆるめます。

④ ビューファインダー前後位置固定レバーと LOCK つまみ
ビューファインダーの前後位置をロックします。
位置を調整するときは、レバーとつまみをゆるめます。

◆ ビューファインダーの位置の調整について詳しくは、「ビューファインダーの取り付け」（11 ページ）をご覧ください。

⑤ レンズ用ケーブルクランプ
レンズ（別売）のケーブルを固定します。

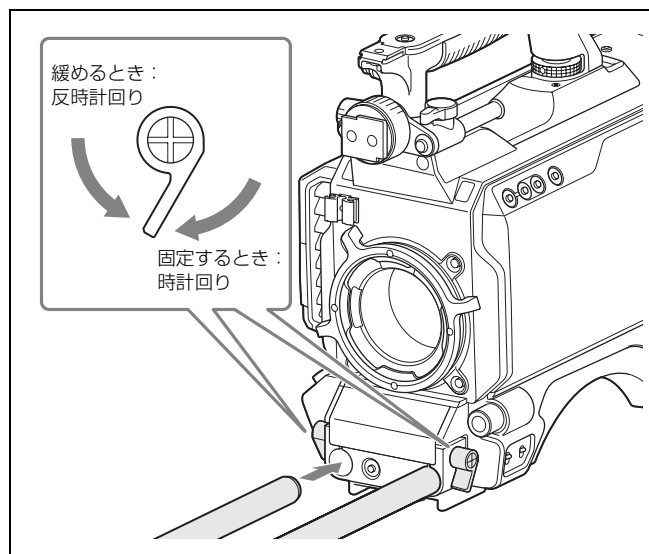
⑥ レンズ固定レバー（PL）
レンズをレンズマウントに固定します。

⑦ レンズマウントキャップ
レンズを取り付けていないときは、このキャップをはめ込んでおいてください。レンズ固定レバーを押し上げると、取り外せます。

⑧ レンズマウント
レンズを取り付けます。

⑨ ロッドクランプ

φ15ロッドの取り付けや取り外しに使用します。
取り付けるときは、ロッドロックレバーを時計回りに回してロッドを固定します。
取り外すときは、ロッドロックレバーを反時計回りに回し、レバーを緩めます。
レバーが回しにくい位置にある場合は、レバーを引き出してから操作しやすい位置まで回します。位置を決めたらレバーを押して元に戻します。



ご注意

ロッドを通さない状態では、ロッドロックレバーを強く締めないでください。

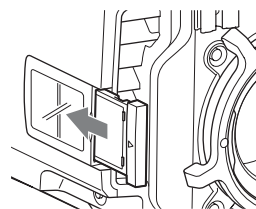
⑩ RET 2（リターンビデオ 2）ボタン

このボタンを押すと、ビューファインダー画面が後面操作パネルのRET 2スイッチ（8ページ）で選択したリターンビデオ信号に切り換わります。

このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

⑪ カメラナンバー

付属のカメラナンバーラベルを挿入し、カメラナンバーを表示することができます。



⑫ NETWORK TRUNK 端子（RJ-45 8ピン）

CCU側のNETWORK TRUNK端子に接続された機器とネットワーク接続する端子です。

⑬ ショルダーパッド

前後に位置を調整できます。

◆ 詳しくは「ショルダーパッドの位置調整」（14 ページ）をご覧ください。

14 RET 1 (リターンビデオ 1) ボタン

押している間、カメラコントロールユニットからのリターンビデオ1信号をビューファインダー画面でモニターできます。ハンドル上部のRET 1ボタン (6ページ) および後面操作パネルのRET 1ボタン (8ページ) と同じ機能です。

このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

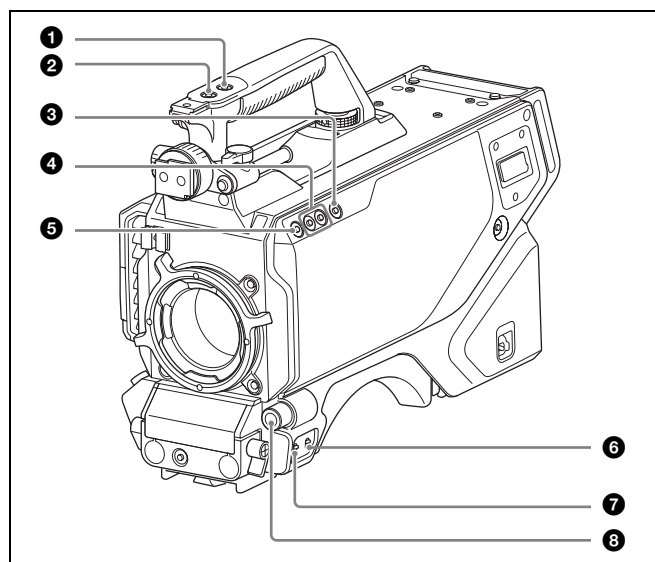
15 LENS (レンズ) 端子 (12 ピン)

レンズのケーブルを接続します。この端子を介して、本機からレンズの機能をコントロールすることができます。

16 三脚マウント

本機を三脚に固定するとき、三脚アタッチメントVCT-14を取り付けます。

前面 (右)



1 INCOM1 (インターカム 1) ボタン

押している間、インターカム1のマイクがONになります。このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

2 RET 1 (リターンビデオ 1) ボタン

押している間、カメラコントロールユニットからのリターンビデオ1信号をビューファインダー画面でモニターできます。側面のRET 1ボタン (6ページ) および後面操作パネルのRET 1ボタン (8ページ) と同じ機能です。

このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

3 アサインブルスイッチ

ビューファインダーに表示されるメニューを使って、各種の機能を割り付けることができます。

4 内蔵フィルター切り換えボタン

FILTER LOCALボタンを押しながら、切り換えボタンを押して内蔵のNDフィルターまたはCC (色温度変換) フィルターを切り換えます。

左のボタンを押すとNDフィルター (素通し、1/4ND、1/16ND) が順次切り換わります。

右のボタンを押すとCCフィルター (3200K (素通し)、4300K、6300K) が順次切り換わります。

5 FILTER LOCAL (内蔵フィルター) ボタン

このボタンを押しながら、どちらかの内蔵フィルター切り換えボタンを押して内蔵の光学フィルターを切り換えます。

6 DISPLAY (ディスプレイ) スイッチ

以下のように機能します。

DISPLAY: ビューファインダー画面にオペレーション時の状態を示す文字が現れます。

OFF: ビューファインダー画面の文字表示がすべて消えます。

MENU: ビューファインダー画面に設定メニューが表示されます。

7 STATUS/CANCEL (ステータス/取り消し) スイッチ

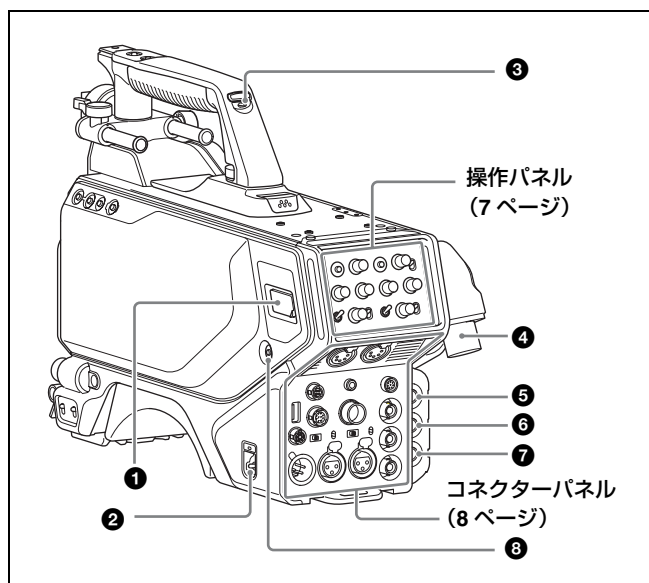
STATUS: ディスプレイ表示中に本機のステータス情報を表示します。

CANCEL: ビューファインダーにメニューが表示されているとき、メニュー設定の内容を取り消したり、メニューの前画面に戻る働きをします。

8 MENU SEL (メニュー選択) つまみ / ENTER (確定) ボタン (ロータリーエンコーダー)

ビューファインダー画面に表示されるメニュー項目を選択 (つまみを回す) / 確定 (ボタンを押す) します。

後面



1 DC 電源出力端子 (2 ピン)

この端子から最大2.5 Aまで外部機器へ給電することができます。

2 CAMERA POWER (カメラ電源) スイッチ

CCU: カメラコントロールユニットからの給電で電源が入ります。

EXT : DC IN 端子からの給電で電源が入ります。

③ タリーランプとタリースイッチ

ON : 接続したカメラコントロールユニットへのタリー入力や
CALL ボタンなどによる呼び出し時にタリーランプが点灯し
ます。

OFF : タリーランプを点灯禁止にします。

④ BPU (ベースバンドプロセッサユニット) 端子 (光電気マルチコネクター)

光電気マルチケーブルでベースバンドプロセッサユニット
BPU4800と接続します。

⑤ SDI 1 (シリアルデジタルインターフェース 1) 端子 (BNC 型)

3G-SDI信号、HD-SDI信号、またはHD PROMPTER信号を出力
します。

⑥ SDI 2 (シリアルデジタルインターフェース 2) 端子 (BNC 型)

HD-SDI信号を出力します。

HD TRUNK INとして使用する場合は入力端子になります。

⑦ PROMPTER2 (プロンプター 2) 端子 (BNC 型)

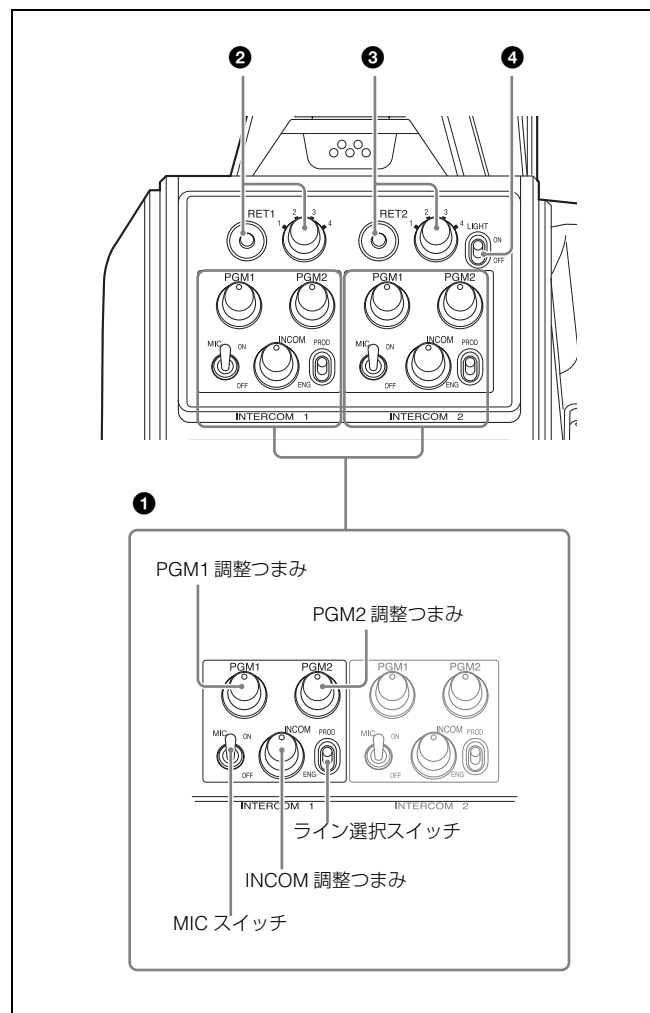
プロンプター 2信号を出力します。

プロンプター 2入力端子を持つカメラコントロールユニット接
続時のみ有効です。

⑧ CALL (コール) ボタン

押すと、RCP-1000シリーズのリモートコントロールパネルや
マスターセットアップユニットMSU-1000シリーズのレッドタ
リーランプが点灯します。RCPやMSUオペレーターを呼び出す
ときに使います。

操作パネル



① INTERCOM1 (インターカム 1)、INTERCOM2 (インターカム 2) つまみ/スイッチ

インターカムライン1、インターカムライン2それぞれに対し、
PGM1調整つまみ、PGM2調整つまみ、ライン選択スイッチ、
MICスイッチ、およびINCOM調整つまみが用意されています。

PGM1 (プログラム1) 調整つまみ

プログラム 1 の音声受話レベルを調整します。

PGM2 (プログラム2) 調整つまみ

プログラム 2 の音声受話レベルを調整します。

MIC (マイクロホン) スイッチ

ON : インターカム用ヘッドセットのマイクを ON にします。イ
ンターカム音声の受話レベルは INCOM 調整つまみで調整し
ます。

OFF : インターカム用ヘッドセットのマイクを OFF にします。
インターカム音声の受話レベルは INCOM 調整つまみで調整
します。

INCOM (インターカム) 調整つまみ

インターカム音声の受話レベルを調整します。

ライン選択スイッチ

インターカムラインを選択します。

PROD : プロデューサーラインを使用します。

ENG : エンジニアラインを使用します。

② RET 1 (リターンビデオ 1) ボタン/スイッチ

ボタンを押している間、スイッチで選択したリターンビデオ信号をビューファインダー画面でモニターできます。

③ RET 2 (リターンビデオ 2) ボタン/スイッチ

リターンビデオ1と並行して別のシステムのシステムを使用している場合、スイッチで選択した信号を、ボタンを押している間ビューファインダー画面でモニターできます。

ご注意

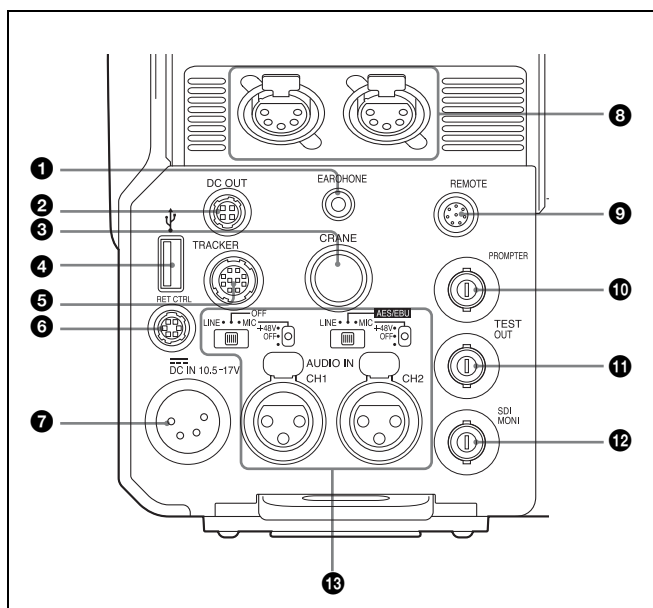
RET 1ボタンとRET 2ボタンを両方とも押した場合は、RET 1ボタンが優先されます。

OPERATIONメニューの<RETURN>ページで設定をすると、RET 1ボタンとRET 2ボタンを同時に押したときにRET 3ボタンとして動作させることができます。

④ LIGHT (ライト) スイッチ

ONにすると操作パネルの表示文字が点灯します。

コネクターパネル



① EARPHONE (イヤホン) ジャック (ステレオミニジャック)

イヤホン、ヘッドセットなどを接続すると、インターカム音声を聞くことができます。

音声レベルの調整は、OPERATIONメニューの<EARPHONE>ページのLEVELで行います。

② DC OUT (DC 電源出力) 端子 (4 ピン)

別売のワイヤレスレシーバーなどに電源を供給します (最大 0.5 A)。

③ CRANE (クレーン) 端子 (12 ピン)

ビューファインダーや外部データなどの外部インターフェース用です。

④ USB 端子 (USB メモリー接続用)

USBメモリーを接続して、設定データファイルを保存・呼び出すことができます。

◆ 詳しくは「USB メモリーの取り扱い」(52 ページ) をご覧ください。

⑤ TRACKER (トラッカー) 端子 (10 ピン)

インターカムやタリーなどの外部インターフェース用です。

⑥ RET CTRL (リターンコントロール) 端子 (6 ピン)

リターンビデオセクター CAC-6を接続します。

⑦ DC IN (DC 電源入力) 端子 (XLR 型 4 ピン)

ACアダプター AC-DN10などを接続し、本機に電源を供給します。

⑧ INTERCOM1、2 (インターカム 1、2) 端子 (XLR 型 5 ピン)

XLR 5ピンタイプのヘッドセットを接続し、インターカムの音声信号を入出力します。

INTERCOM1端子に接続したヘッドセットでは、カメラの電源が落ちていても電源のLEDが赤く点灯している場合はエンジニアラインで通話できます。

⑨ REMOTE (リモート) 端子 (8 ピン)

リモートコントロールパネルRCP-1000/1500シリーズ、またはマスターセットアップユニットMSU-1000/1500を接続します。

ご注意

カメラコントロールユニットと接続して使用するときは、この端子にはリモートコントロールパネルやマスターセットアップユニットを接続しないでください。

⑩ PROMPTER (プロンプター信号出力) 端子 (BNC 型)

プロンプター 1信号を出力します (カメラコントロールユニット接続時のみ有効)。プロンプター入力を2つ持つカメラコントロールユニットを接続した場合は、1側が出力されます。

⑪ TEST OUT (テスト出力) 端子 (BNC 型)

アナログ信号を出力します。

メニューの選択で、VBS信号、VF端子とほぼ同じHD-Y信号、HD-SYNC信号、SD-SYNC信号を出力することができます。

◆ 信号の設定方法については、「カメラ出力の設定」(20 ページ) をご覧ください。

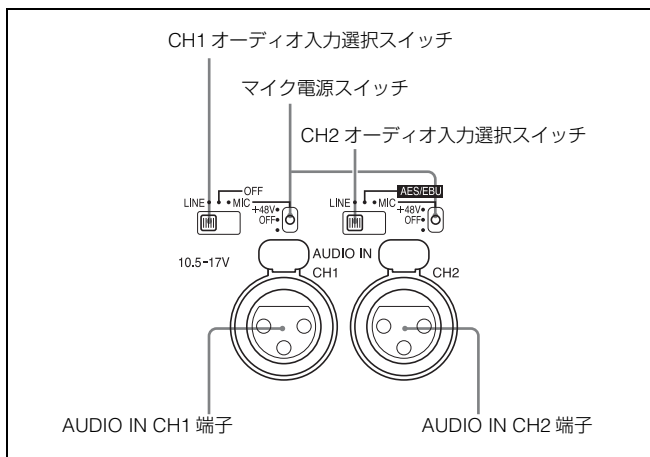
⑫ SDI-MONI (シリアルデジタルインターフェース) 端子 (BNC 型)

HD-SDIまたはSD-SDI信号を出力します。

◆ 信号の設定方法については、「カメラ出力の設定」(20 ページ) をご覧ください。

⑬ AUDIO IN (オーディオ入力) CH1、CH2 端子 (XLR 型 3 ピン) / スイッチ

オーディオ信号を入力します。チャンネル1、2それぞれに対して入力選択スイッチ、マイク電源スイッチが用意されています。



CH1（チャンネル1）オーディオ入力選択スイッチ

AUDIO IN CH1端子に接続する機器に合わせて設定します。

LINE：ラインレベル（0 dBu）の信号を接続するとき

MIC：マイクを接続するとき

CH2（チャンネル2）オーディオ入力選択スイッチ

AUDIO IN CH2端子に接続する機器に合わせて設定します。

LINE：ラインレベル（0 dBu）の信号を接続するとき

AES/EBU：デジタルオーディオ信号を接続するとき（カメラ出力と同期させる必要があります。）

MIC：マイクを接続するとき

マイク電源スイッチ

対応するAUDIO IN端子にマイクを接続したとき、マイクに電源を供給するかどうかを設定します。

+48V：+48 V の電源をマイクに供給します。

OFF：電源をマイクに供給しません。

（一番下の位置は機能しません。この位置にしてもマイクに電源は供給されません。）

ご注意

+12 V電源を供給する場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

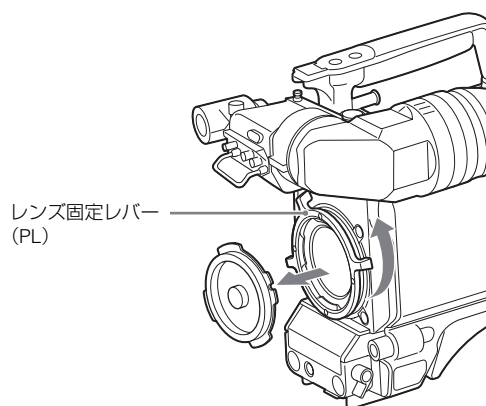
準備

レンズの取り付け

◆ レンズの取り扱いについては、レンズに付属の取扱説明書をご覧ください。

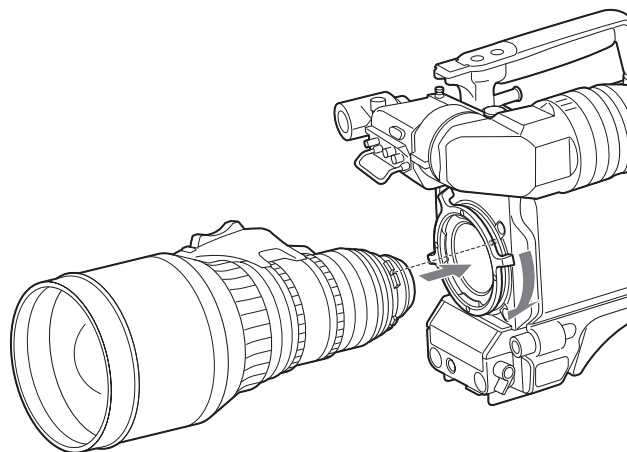
PLレンズを取り付ける

- 1 レンズ固定レバー（PL）を反時計方向に回し、レンズマウントからレンズマウントキャップを外す。



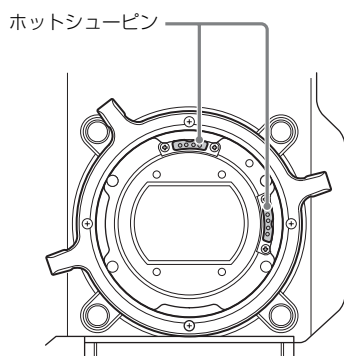
- 2 レンズマウント上面右の位置決めピンにレンズの凹部を合わせ、PLレンズをレンズマウントに差し込む。

- 3 PLレンズを支えながら、レンズ固定レバー（PL）を時計方向に回し、PLレンズを固定する。



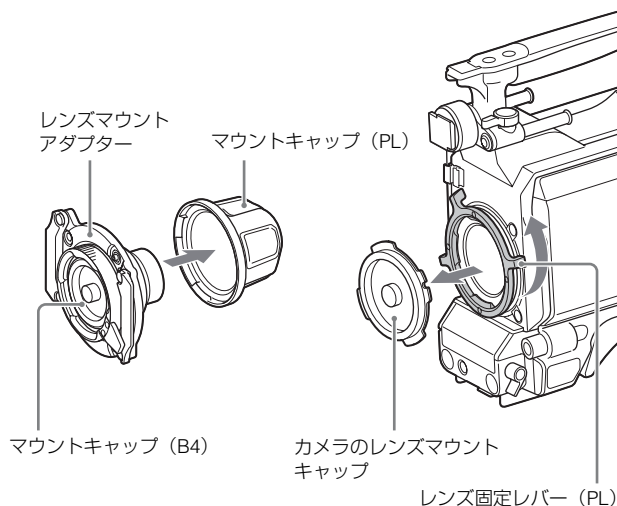
ご注意

PLレンズを装着の際は、レンズを回さないでください。レンズを回すとホットシューピン折れの原因となります。

**B4レンズを取り付ける****ご注意**

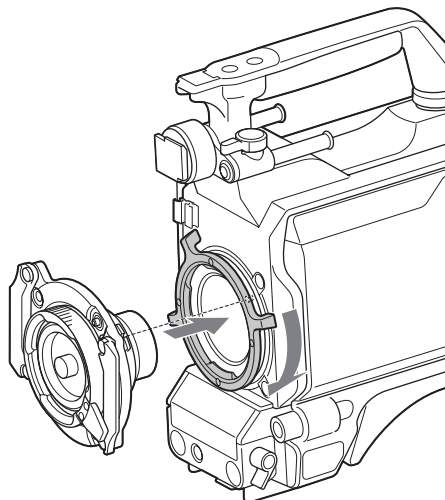
HDフォーマット使用時は画面センターのHD画素エリアを使用しています。付属のレンズマウントアダプターを装着し、B4レンズを取り付けてご使用ください。

- 1 付属のレンズマウントアダプターのマウントキャップ (PL) を反時計方向に回して外す。また、カメラのレンズ固定レバー (PL) を反時計方向に回して、カメラのレンズマウントキャップを外す。

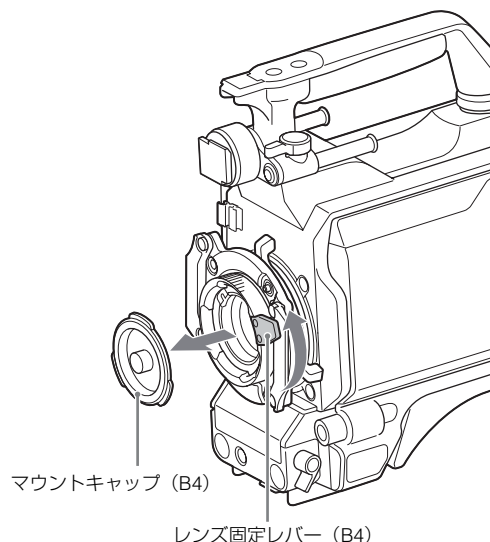


- 2 カメラのレンズマウント上面の位置決めピンに、レンズマウントアダプターの凹部を合わせ、レンズマウントに差し込む。

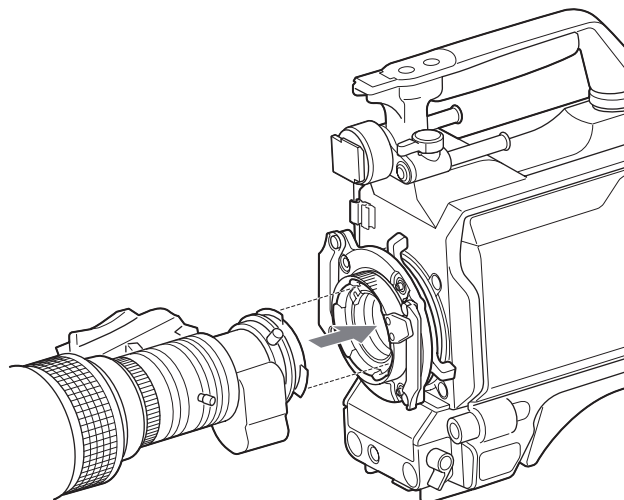
- 3 レンズマウントアダプターを支えながら、レンズ固定レバー (PL) を時計回り方向に回して固定する。



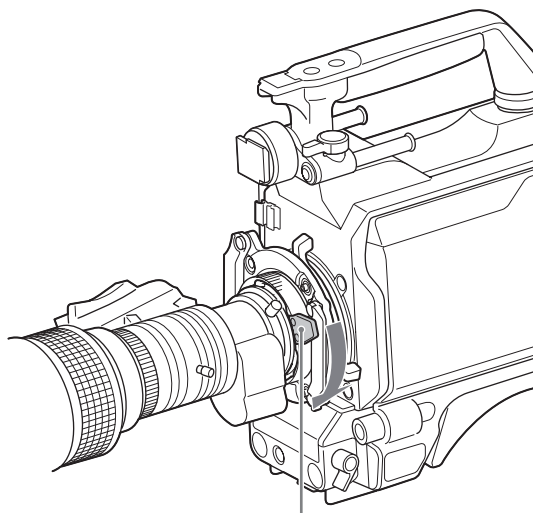
- 4 レンズ固定レバー (B4) を反時計方向に回し、レンズマウントアダプターのマウントキャップ (B4) を外す。



- 5 レンズマウントアダプター上部の凹部にB4レンズの位置決めピンを合わせ、B4レンズをアダプターに差し込む。



- 6** B4レンズを支えながら、レンズ固定レバー（B4）を時計方向に回してレンズを固定する。

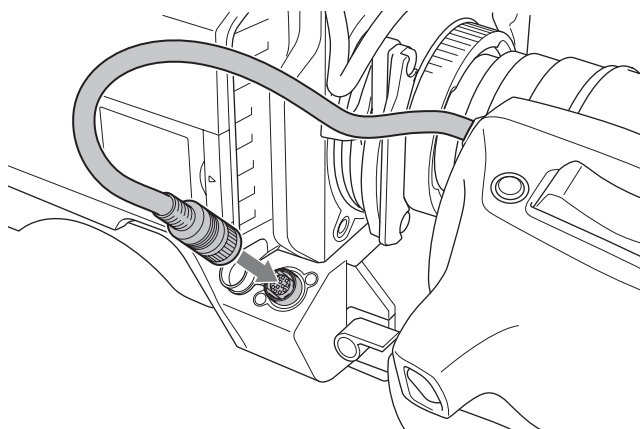


レンズ固定レバー（B4）

- 7** カメラのレンズ端子のキャップを外し、レンズのケーブルを接続する。

ご注意

レンズ端子を使わないときは、キャップをはめておいてください。



フランジバックの調整

次のような場合、フランジバック（レンズマウントの取り付け面から結像面までの距離）の調整が必要です。

- レンズを初めて取り付けたとき
- レンズを交換したとき
- ズーム操作の際に、望遠・広角の両方で焦点がきちんと合わないとき

フランジバックは、フォーカスアシストインジケーターを使用すると、より正確に調整できます。

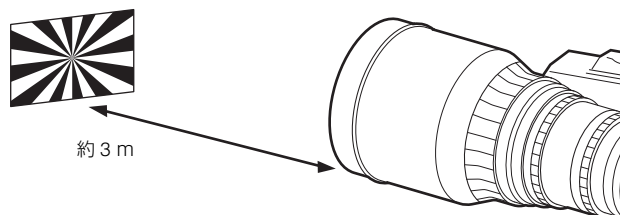
- ◆ フォーカスアシストインジケーターについては、「フォーカスアシストインジケーターを表示する」（18 ページ）をご覧ください。

ご注意

フランジバックの調整のために操作するレンズの各部分の位置は、レンズによって異なります。レンズに付属の取扱説明書で確認してください。

調整手順

- 1** 絞りのモードを手動にして、絞りを開放にする。
- 2** フランジバック調整用チャートを本機から3 mぐらいの所に置き、適正な映像出力レベルが得られるように、照明を調整する。
- 3** Ff (Flange focal length) リング固定ネジをゆるめる。
- 4** 手動または電動で、ズームリングを望遠位置にする。
- 5** フランジバック調整用チャートを写し、フォーカスリングを回して焦点を合わせる。



- 6** ズームリングを広角位置にする。
- 7** Ffリングを回し、フランジバック調整用チャートに焦点を合わせる。このとき、距離リングを動かさないように注意してください。
- 8** 望遠と広角の両方で焦点が合うようになるまで、手順4～7の操作を繰り返す。
- 9** Ffリング固定ネジをしっかりと締める。

ビューファインダーの取り付け

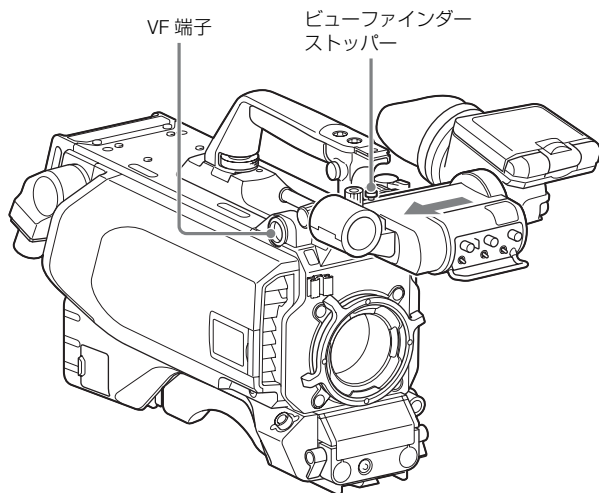
警告

ビューファインダーを取り付けたあと、接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

ビューファインダーを取り付ける

HDVF-20A/200/EL20/EL30を例にして説明します。

- ◆ ビューファインダーの取り扱いについて詳しくは、ビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。

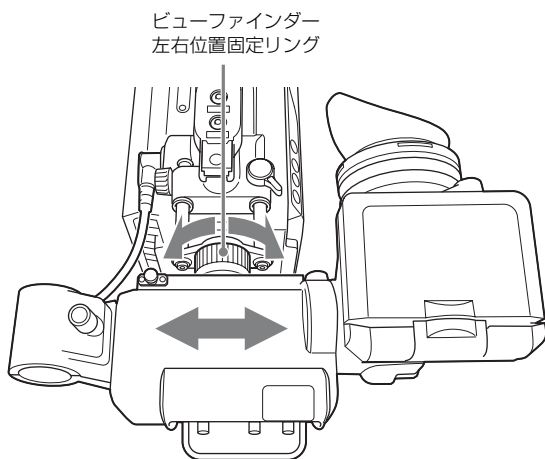


- 1 ビューファインダーを図の矢印の方向にスライドさせて取り付ける。
ビューファインダーストッパーが自動的に下がります。
- 2 ビューファインダーの左右位置を決め、左右位置固定リングを回して締める（「左右方向の調整」参照）。
- 3 ビューファインダーケーブルをカメラのVF端子に接続する。

位置を調整する

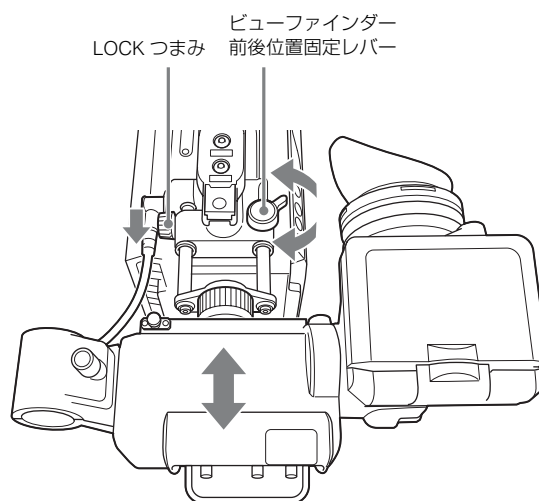
位置を左右方向および前後方向に調整して、ビューファインダー内を見やすくすることができます。

左右方向の調整



- 1 ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめる。
- 2 ビューファインダーを左右にスライドさせ、内部が見やすい位置に調整する。
- 3 ビューファインダー左右位置固定リングを締める。

前後方向の調整



- 1 ビューファインダー前後位置固定レバーとLOCKつまみをゆるめる。
- 2 ビューファインダーを前後にスライドさせ、内部が見やすい位置に調整する。
- 3 ビューファインダー前後位置固定レバーとLOCKつまみを回して、ビューファインダーを固定する。

ビューファインダーを取り外す

ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめ、ビューファインダーストッパーを上げて、ビューファインダーを取り付けたときと逆の方向にスライドさせて抜き取ります。

ビューファインダーが脚に当たらないようにする（BKW-401を使う）

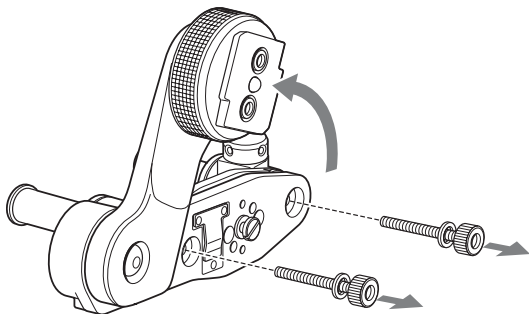
本機を持ち運ぶときに、ビューファインダーが脚に当たらないようにするには、ビューファインダー回転機構BKW-401（別売）を取り付けて、ビューファインダーを上部に回転させておきます。

ご注意

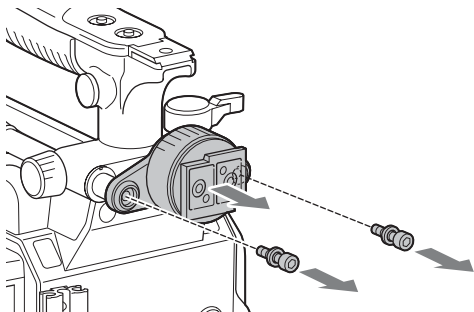
ビューファインダーを上部に回転させる前に、ビューファインダーを少し前に引き出した位置で固定してください。ビューファインダーの前後方向の位置が最後部になっていると、ビューファインダー回転機構のアームが本機のハンドルに当たります。

BKW-401の取り付け手順

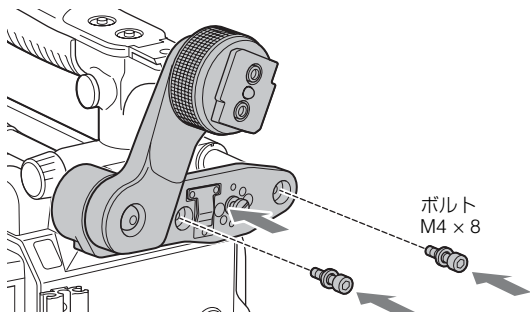
- 1 BKW-401のローテーション機構部のアームを下図の矢印の方向に回転させる。
次に、対辺3ミリの六角レンチを使用して、ボルトM4 × 8とワッシャーを外し、ローテーション機構部とビューファインダー前後位置調整機構部を分離する。



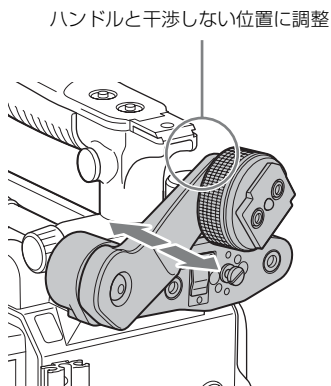
- 2** 手順1と同様にして、カメラのビューファインダーシュを前後位置調整機構部から取り外す。



- 3** 手順2でカメラから外した2本のボルト M4 × 8 とワッシャーを使用して、BKW-401のローテーション機構部をカメラに取り付ける。



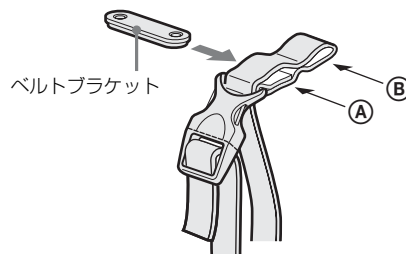
- 4** BKW-401のアームを跳ね上げたとき、カメラのハンドルと干渉しないように前後位置を調整する。



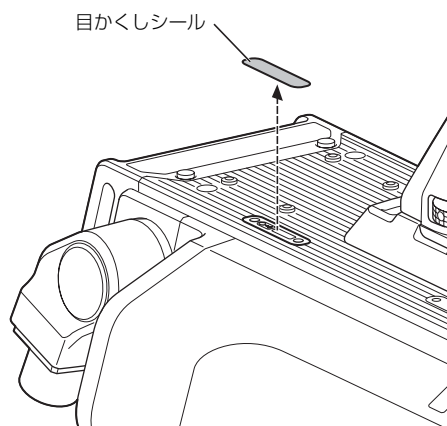
ケーブルクランプベルト（付属）の取り付け

付属のケーブルクランプベルトを取り付けると、BPU端子に接続した光電気マルチケーブルをカメラ側面に固定することができます。

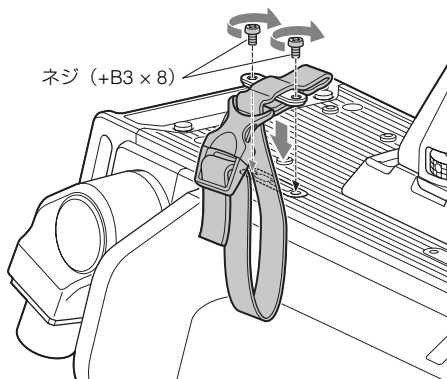
- 1** 付属のケーブルクランプベルトの上端の穴④または⑤に、ベルトブラケットを通す。



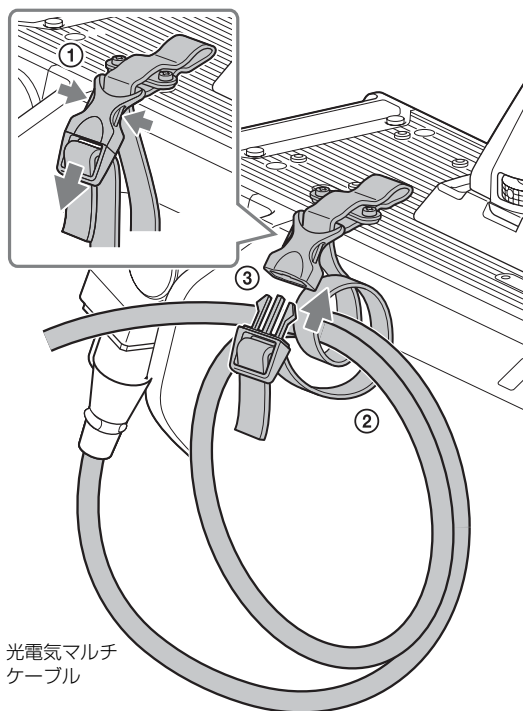
- 2** 下図の目かくしシールをカメラからはがす。



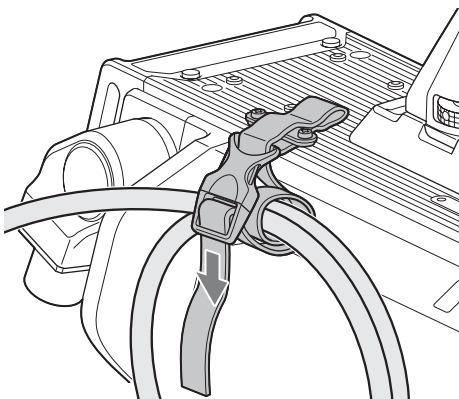
- 3** 付属の+B3 × 8ネジ2本でベルトをカメラに取り付ける。



- 4** ①バックルを外して、②ケーブルにベルトを巻いて束ね、③バックルを元どおりロックする。



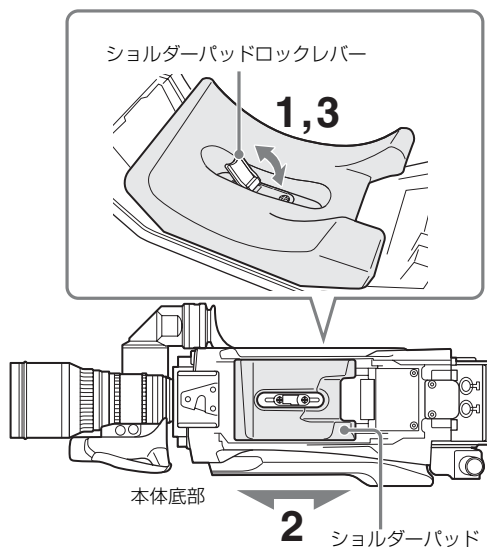
5 ベルトの下端を引いて長さを調整する。



ショルダーパッドの位置調整

ショルダーパッドは、中央位置（出荷時の位置）から前方に25 mm、後方に10 mmの範囲でスライドさせることができます。本機を肩にのせた状態で操作しやすくなるように、ショルダーパッドの位置を調整してください。

調整手順



- 1 ショルダーパッドの中央のレバーを引き上げてロックを外す。
- 2 前後方向にスライドさせて、適当な位置を選ぶ。
- 3 レバーを倒して固定する。

三脚への取り付け

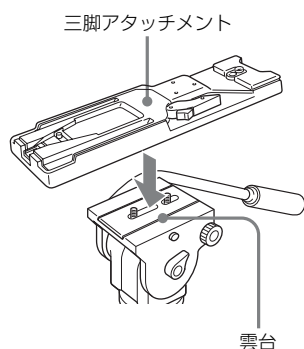
三脚アタッチメントVCT-14を使って、次の手順でカメラを三脚に取り付けます。

で注意

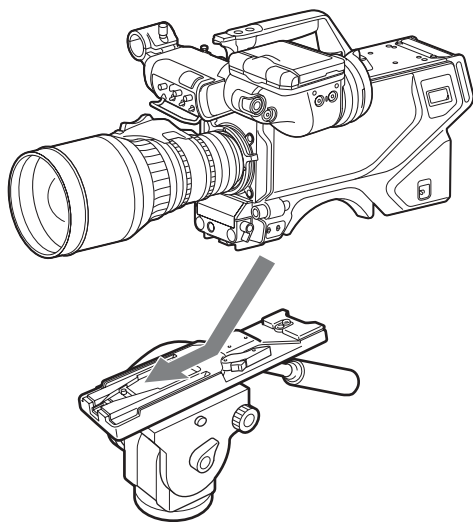
- カメラと三脚アタッチメントの重心を考慮して、三脚アタッチメント底面の穴から適切な穴を選択してください。選択した穴が適切でないと、カメラを取り付けたときに重心が偏り、カメラが落下したり転倒したりして、けがの原因となることがあります。
- 取り付けに選択した穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。ネジの径と合わないとは三脚アタッチメントが確実に固定されず、カメラが落下したり転倒したりして、けがの原因となることがあります。

取り付け手順

- 1 三脚アタッチメントを三脚に取り付け、ネジで固定する。



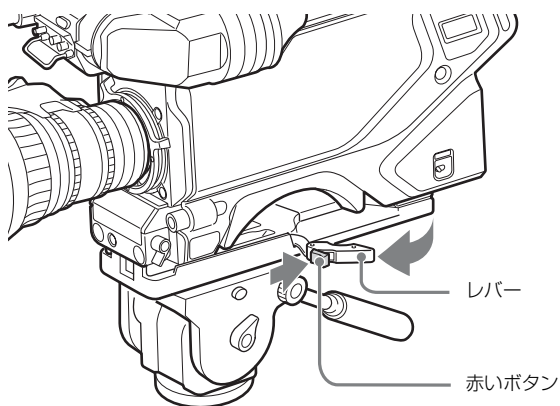
- 2 カメラを三脚アタッチメントにのせ、三脚アタッチメントの溝に沿ってカチッと音がするまで前へスライドさせて取り付ける。



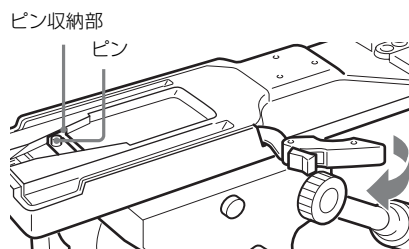
- 3 カメラを前後に動かし、外れないことを確認する。

三脚アタッチメントからカメラを取り外す

赤いボタンを押しながら、レバーを矢印の方向へ動かします。



三脚アタッチメントのピンが元の位置に戻らないときはカメラを取り外したあと、三脚アタッチメントのピンが元の位置（ピン収納部）に戻らないときは、もう一度、赤いボタンを押しながらレバーを矢印の方へ動かして、ピンを元の位置に戻します。ピンが中央に残ったままだと、カメラの取り付けができません。



撮影のための調整と設定

ブラックバランス／ホワイトバランスの調整

常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。

ブラックバランスの調整

次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
 - 長時間使用しなかった後に使用する時
 - 周囲の温度が大幅に変化した状況で使用する時
 - 設定メニューでゲイン切り換え値を変更したとき
- 通常は、電源を再び入れた場合でも調整し直す必要はありません。

ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。

ビューファインダー画面の表示について

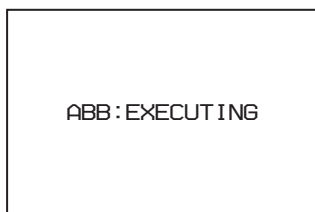
ブラックバランスとホワイトバランスの調整を始めると、ビューファインダー画面に、調整経過や結果を知らせるメッセージが表示されます。

ご注意

本機で自動調整される調整値や各設定値は、本機のメモリーに記憶され、電源を切っても保持されています。

ブラックバランスを調整する

MSU、RCPを操作してオートブラックバランス（ABB）を実行します。
ブラックバランスの自動調整が始まります。
ブラックバランスの自動調整では、ブラックセット、ブラックバランスの両方が調整されます。
調整中は、ビューファインダー画面上に図のようなメッセージが表示されます。



調整が終了すると、メッセージ「ABB: OK」が表示されます。
調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

ご注意

- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。

- ブラックバランス調整中、ゲイン切り換え回路が自動的に切り換わり、また、ビューファインダー画面上にフリッカーが数回現れますが、故障ではありません。
- 完全遮光状態にならないときは、レンズキャップを取り付けてから、オートブラックバランス（ABB）を実行してください。

ブラックバランスの自動調整ができないときは

ブラックバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージ「ABB: NG」が表示されます。

エラーメッセージが表示されたら、再度ブラックバランスの調整を試みてください。

繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

ブラックバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも保存されます。

ホワイトバランスを調整する

- 1 MSU、RCPを操作してオートホワイトバランス（AWB）を実行する。

- 2 照明条件に合わせて、フィルターを切り換える。

NDフィルターを切り換えるには

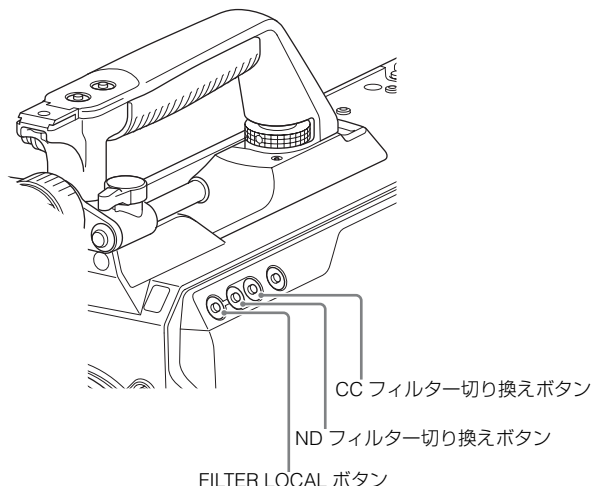
FILTER LOCALボタンを押しながら、NDフィルター切り換えボタンを押します。

切り換えボタンを押すたびにNDフィルター（素通し、1/4ND、1/16ND）が順次切り換わります。

CC（色温度変換）フィルターを切り換えるには

FILTER LOCALボタンを押しながら、CCフィルター切り換えボタンを押します。

切り換えボタンを押すたびにCCフィルター（3200K、4300K、6300K）が順次切り換わります。

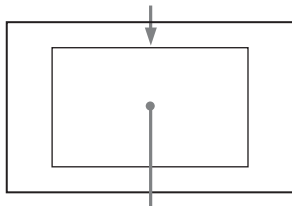


ND フィルター		色温度変換フィルター	
1	素通し	A	3200K（素通し）

ND フィルター		色温度変換フィルター	
2	1/4ND	B	4300K
3	1/16ND	C	6300K

- 3** 被写体の照明光源と同じ条件のところに下記のようなホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映す。被写体の近くの白いもの（白布、白壁）で代用することもできます。

画面センターを中心とする長方形。
各辺の長さは、画面の高さ、または幅の 70%。



この長方形内に、画面面積の 10% 以上の面積の白が必要。

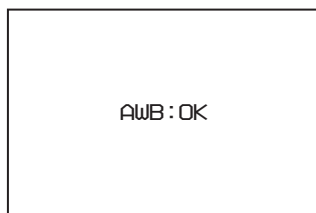
ご注意

長方形内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

- 4** レンズの絞りを調整する。
手動調整レンズの場合：絞りを適正值に合わせる。
自動絞り調整機能付きレンズの場合：レンズ側の絞り自動／手動切り換えスイッチを自動に設定する。

- 5** MSU、RCPを操作してオートホワイトバランス（AWB）を実行する。
 ホワイトバランスの自動調整が始まります。

調整中、ビューファインダー画面にメッセージ「AWB : EXECUTING」が表示されます。
 図のようなメッセージが表示され、調整が完了します。調整値は自動的に記憶されます。



ご注意

自動絞り機能付きズームレンズを使用した場合、絞りがハンチング¹⁾を起こすことがあります。レンズに付いている絞りのゲインつまみ（IG、IS、Sなどと表示されている）を調整してください。

1) ハンチング：オートアイリスの応答を繰り返し、映像が暗くなったり明るくなったりすること。

◆ 詳しくは、レンズの取扱説明書をご覧ください。

ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージ「AWB : NG」が表示されます。

エラーメッセージが表示されたら、再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

電子シャッターの設定

ここでは、本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードについて説明し、シャッターモードとシャッタースピードの設定手順を示します。

シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次のとおりです。

設定できるシャッターモードとシャッタースピード

シャッターモード	シャッタースピード*	用途
標準	1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000 (秒)	動きの早い被写体を鮮明に撮影したい場合
ECS（拡張クリアスキャン）	59.96 ～ 4600 Hz の範囲で連続可変	モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように撮影したい場合

* 表の数値は 59.94P 時のものです。他のフォーマットでは設定できる値が異なります。

シャッターモード／スピードを選択する

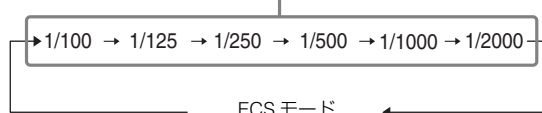
MSU、RCPを操作して、シャッタースピード（SHUTTER）を変更します。

ビューファインダー画面に、シャッターの現在の設定が約3秒間表示されます。

例：「SHUTTER：1/250」

例：59.94P 時

標準モード



フォーカスアシスト機能の設定

OPERATIONメニューを使用して、フォーカスを合わせやすくするための補助機能をビューファインダー上に表示することができます。

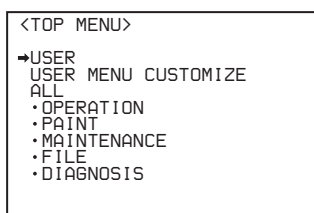
VFディテール信号を付加する

ビューファインダー上の画像のシャープエッジ部分にディテール信号を付加すると、ディテール信号の変化や、ディテール信号を変換した色（カラーディテール）の変化によって、フォーカスの状態を容易に判断できます。
ディテール信号が最も強く表示されるようにフォーカスを合わせます。

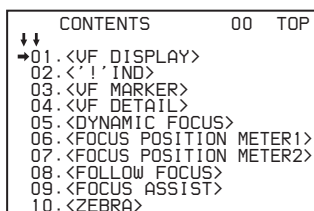
1 カメラの電源を入れる。

2 MENU SELつまみ／ENTERボタンを押しながら、DISPLAYスイッチをMENU側にする。 メニューモードになり、画面右上にTOPが表示されます。

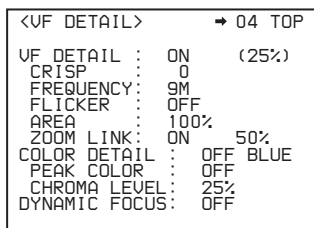
3 MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して→マークをTOPに合わせ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。 TOP MENU画面が表示されます。



4 MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して→マークをOPERATIONに合わせ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。 OPERATIONメニューのCONTENTSページが表示されます。



5 MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して→マークを<VF DETAIL>に合わせ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。 <VF DETAIL>ページが表示されます。



6 MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して→マークを設定したい項目に合わせ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。

VFディテール信号を使うには

VF DETAILをONにすると、映像のシャープエッジ部分にディテール信号が付加されます。レベルを0%～100%の範囲で設定できます（初期設定：25%）。

以下の項目で、ディテール信号の付きかたを調整できます。

CRISP：細かなディテール信号を消す。

FREQUENCY：シャープエッジの検出帯域を変更する。

FLICKER：ディテール信号をフリッカーさせる機能をON/OFFする（ONにするとビューファインダー画面でディテール信号を確認しやすくなる）。

AREA：ディテール信号を表示するエリアを絞る。

ZOOM LINK：WIDE 端の VF ディテール量を設定する（ズームポジションに応じて VF ディテール量が変わる）。

カラーディテールを使うには

COLOR DETAILをONにすると、ディテール信号が色に変換されて表示されます（カラービューファインダーなどの液晶画面で確認しやすくなります）。ONの右の欄で表示色を選択できます。

（ダイナミックフォーカス機能またはキネティックフォーカス機能がONのときは、カラーディテール機能はOFFになります。）

以下の項目で色の付きかたを調整できます。

PEAK COLOR：ディテール信号が最も強くなる場所で色を変化させる機能をON/OFFする。

CHROMA LEVEL：映像信号のクロマ成分を低くする（ビューファインダーの映像信号のみ適用）。

DYNAMIC FOCUS：DYNAMIC FOCUS 表示をON/OFFする（ダイナミックフォーカスの詳細設定は、<DYNAMIC FOCUS> ページで設定）。ダイナミックフォーカス機能は4K撮影時に有効。

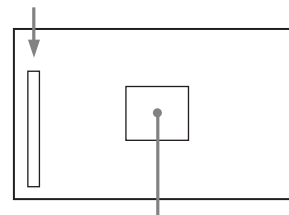
7 MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して希望の設定値を表示させ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。

8 設定が終わったら、DISPLAYスイッチをOFFにして、メニューモードを解除する。

フォーカスアシストインジケータを表示する

フォーカスアシストインジケータ機能を使用すると、被写体の凸凹成分を抽出して、その積算値をレベルインジケータに変換してビューファインダー画面に表示することができます。

レベルインジケータ（表示場所や動作を調整可）



フォーカスの検出範囲を表すエリアマーカー
（サイズや位置を調整可）

インジケータが最大に振れるフォーカスポジションが、ジャストポイントになります。

（絵柄や撮影状況によって、インジケータの振れ幅は大きく変化します。GAIN、OFFSETを使って適宜調整してください。）

- 1 **OPERATION**メニューの**CONTENTS**ページを表示する
〔VFディテール信号を付加する〕の手順1〜4参照）。
- 2 **MENU SEL**つまみ／**ENTER**ボタンを回して➡マークを
＜**FOCUS ASSIST**>に合わせ、**MENU SEL**つまみ／**ENTER**
ボタンを押す。
＜**FOCUS ASSIST**>ページが表示されます。

＜FOCUS ASSIST＞ ➡ 09 TOP	
INDICATOR	: OFF
MODE	: BOX BTM
LEVEL	: 40% QUICK
GAIN	: 50
OFFSET	: 50
AREA MARKER	: OFF
SIZE	: MIDDLE
POSITION	: CENTER
POSITION H	: 50
POSITION V	: 50

- 3 **MENU SEL**つまみ／**ENTER**ボタンを回して➡マークを設
定したい項目に合わせ、**MENU SEL**つまみ／**ENTER**ボタ
ンを押す。

レベルインジケータを使うには

INDICATORをONにすると、フォーカスの合い具合を示す
レベルインジケータがビューファインダー上に表示され
ます。

表示方法を下記の項目で設定できます。

MODE：インジケータの種類と表示位置を設定する。

LEVEL：インジケータの濃さと反応速度を設定する。

GAIN：インジケータの感度を調整する。¹⁾

OFFSET：フォーカス検出値のオフセットを調整する。²⁾

1) 通常は、AREA MARKER SIZE の設定値に連動して適正値に自動設定
されます。撮影環境によって、インジケータの感度が適正にならな
いときに使用します。

2) 通常は、AREA MARKER SIZE と MASTER GAIN の設定値に連動して
適正なオフセットに自動設定されます。撮影環境によって、オフセッ
トが適正にならないときに使用します。

エリアマーカを使うには

AREA MARKERをONにすると、フォーカスの検出範囲を示
すエリアマーカがビューファインダー上に表示されます。
検出範囲のサイズや位置を下記の項目で設定できます。

SIZE：検出範囲のサイズを変更する（検出範囲を大きく取
りすぎると、被写体と背景の両方がエリアに含まれ、イン
ジケータの表示が被写体からずれやすくなる）。

POSITION：検出範囲の位置を大まかに設定する。

POSITION H：検出範囲の位置を横方向で微調整する。

POSITION V：検出範囲の位置を縦方向で微調整する。

- 4 **MENU SEL**つまみ／**ENTER**ボタンを回して希望の設定値
を表示させ、**MENU SEL**つまみ／**ENTER**ボタンを押す。

- 5 設定が終わったら、**DISPLAY**スイッチを**OFF**にして、メ
ニューモードを解除する。

ご注意

- レベルインジケータとエフェクトエリアマーカは同時に
表示できません。後から ON にしたほうが優先的に表示され
ます。
- エリアマーカとアスペクトセーフティマーカは同時に表
示できません。後から ON にしたほうが優先的に表示されま
す。

- フォーカスアシストインジケータを表示するとき、フラン
ジバックが正確に調整されていることを確認してください。
- ◆ フランジバックについては、「フランジバックの調整」（11
ページ）をご覧ください。

ダイナミックフォーカス機能の詳細設 定

ダイナミックフォーカス表示の詳細を設定します。

ダイナミックフォーカス機能は、4K撮影時に有効です。

ダイナミックフォーカスとは、4K解像度の信号が得られている
エリアに、輝度信号、色信号によるマーキング表示を付加する
機能です。4K映像のフォーカスポイントを、効率的に表示する
ことができます。

- 1 **OPERATION**メニューの**CONTENTS**ページを表示する
〔VFディテール信号を付加する〕の手順1〜4参照）。

- 2 **MENU SEL**つまみ／**ENTER**ボタンを回して➡マークを
＜**DYNAMIC FOCUS**>に合わせ、**MENU SEL**つまみ／
ENTERボタンを押す。

＜**DYNAMIC FOCUS**>ページが表示されます。

＜DYNAMIC FOCUS＞ ➡ 05 TOP	
DYNAMIC FOCUS	: OFF
FREQUENCY	: EXTRA-LOW
ZOOM LINK	: OFF MODE1 100%
CRISP	: 6%
LEVEL	: LOW
PEAK COLOR	: YELLOW
THRESHOLD	: 50%
COLOR LEVEL	: 19%

- 3 **MENU SEL**つまみ／**ENTER**ボタンを回して➡マークを設
定したい項目に合わせ、**MENU SEL**つまみ／**ENTER**ボタ
ンを押す。

ダイナミックフォーカスを使うには

＜VF DETAIL＞ページまたはこのページで**DYNAMIC FOCUS**
をONにすると、4K解像度の映像信号が得られている箇所
に、輝度信号、色信号によるマーキングが表示されます。
マーキングの詳細設定を下記の項目で設定できます。

FREQUENCY：検出する 4K 解像度の高周波信号の帯域
を、4 種類から選択して設定する。ZOOM LINK が ON
のときは設定が (AUTO) になる。

ZOOM LINK：ダイナミックフォーカス機能を、ズームポ
ジションに応じて適切な特性に自動調整する。使用する
レンズに合わせて、モードを 4 種類から選択して設定
する。また、WIDE 端のマークのレベル量も設定する。

CRISP：検出される信号の微小成分を消す。

LEVEL：付加するマーキング信号の輝度レベルを設定す
る。

PEAK COLOR：検出値が一定レベル以上のマーキング表
示に付加する色を設定する。

THRESHOLD：PEAK COLOR を表示するしきい値を設定
する。

COLOR LEVEL：PEAK COLOR 表示の色の濃さを設定す
る。

- 4 MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して希望の設定値を表示させ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。
- 5 設定が終わったら、DISPLAYスイッチをOFFにして、メニューモードを解除する。

カメラ出力の設定

本機から直接出力する映像信号は、メニューを使用して設定できます。

ご注意

SD-SDIとVBSでは、MAIN（カメラ画像）、RET（リターン）、VF（ビューファインダーと同等の画像）の設定は共通です。別の信号は出力できません。

設定に使用するメニューページは、工場出荷時にUSERメニューに登録されています。

- <SYSTEM FORMAT>
- <TEST OUT>
- <SDI OUT>

これらのページの項目を下記の表のように設定してください。

- ◆ メニュー操作および USER メニューについて詳しくは、「メニュー操作」（23 ページ）をご覧ください。

カメラで撮影している信号を出力する

<SDI OUT>または<TEST OUT>ページでCHARACTERをONに設定することで、それぞれビューファインダーに表示される文字と同等の文字情報を付加できます。

HD-SDIで出力するには

メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<SDI OUT>	M11	SDI-MONI OUT	MAIN

SD-SDIで出力するには

メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<SDI OUT>	M11	SDI-MONI OUT	SD-SDI
		DOWN CONVERTER SELECT	MAIN

VBSで出力するには

メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<TEST OUT>	M10	OUTPUT	VBS
		DOWN CONVERTER SELECT	MAIN

リターン信号を常に出力する

- カメラコントロールユニット接続時、カメラコントロールユニットに入力された信号のうちひとつを取り出して出力することができます。
- リターン選択で最後に選択した信号が出力されます。
- <SDI OUT> または <TEST OUT> ページで CHARACTER を ON に設定することで、それぞれビューファインダーに表示されるのと同様の文字情報を付加できます。

HD-SDIで出力するには

メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<SDI OUT>	M11	SDI-MONI OUT	RET

SD-SDIで出力するには

メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<SDI OUT>	M11	SDI-MONI OUT	SD-SDI
		DOWN CONVERTER SELECT	RET

VBSで出力するには

メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<TEST OUT>	M10	OUTPUT	VBS
		DOWN CONVERTER SELECT	RET

ビューファインダーと同等の映像を出力する

- HD-SDI の場合、VF MARKER、CHARACTER、VF DETAIL、ZEBRA などの設定に応じてビューファインダーに表示される情報が付加された信号が得られます。それぞれの ON/OFF などの設定は、ビューファインダーにおける設定と同等です。ビューファインダーの Y、R、G、B や リターン信号への切り換えに同期します。
- SD-SDI と VBS では、リターン信号とカメラ画像との切り換えにのみ連動します。Y、R、G、B の切り換えには対応しません。また CHARACTER 以外の情報（VF MARKER、VF DETAIL、ZEBRA など）は付加できません。

ご注意

ビューファインダーと同等の映像を出力する設定では、フォーマットが720Piに設定されていても1080iで出力されます。

HD-SDIで出力するには

メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<SDI OUT>	M11	SDI-MONI OUT	VF

SD-SDIで出力するには

メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<SDI OUT>	M11	SDI-MONI OUT	SD-SDI
		DOWN CONVERTER SELECT	VF

VBSで出力するには

メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<TEST OUT>	M10	OUTPUT	VBS
		DOWN CONVERTER SELECT	VF

3G-SDIで出力する

SDI-1出力が3G-SDI出力となります。

1080/59.94P あるいは 1080/50Pを出力するには

メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<SYSTEM FORMAT>	M09	ACTIVE LINE	1080
		(フォーマット)	59.94P または 50P
<SDI OUT>	M11	SDI-1 OUT	3G-SDI

Dual Linkで出力する

SDI-1出力が Link A、SDI-2出力が Link Bとなります。

1080/59.94P あるいは 1080/50Pを出力するには

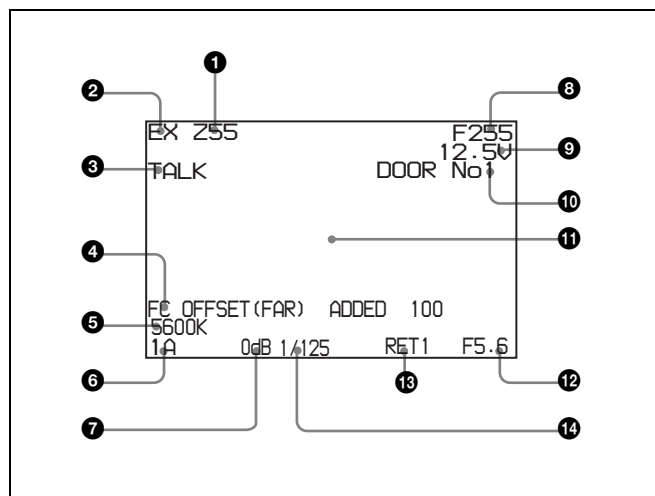
メニューページ名	ページ No.	項目	設定
<SYSTEM FORMAT>	M09	ACTIVE LINE	1080
		(フォーマット)	59.94P または 50P
<SDI OUT>	M11	SDI-1 OUT	MAIN/ LINK-A
		SDI-2 OUT/IN	MAIN/ LINK-B

ビューファインダー画面上の状態表示

ビューファインダー画面には、映像の他に本機の設定や動作の状態を示す文字やメッセージ、センターマーカ、セーフティゾーンマーカなどが表示されます。

DISPLAYスイッチがDISPLAYに設定されているとき

画面の上端、下端には、メニューや関連するスイッチでONに設定された項目が表示されます。



① ズームポジション

ズームレンズのバリエーターが、広角端 (0) と望遠端 (99) の間のおおよそどの位置にあるかを数値で表示します。

② レンズエクステンダー

レンズエクステンダーの使用中にEXを表示します。
X1.2のエクステンダーがあるレンズでは、X12と表示します。

③ TALK 表示

インターカムのマイクがONのとき、表示されます。

④ フォローフォーカス表示

フォローフォーカス有効時にオフセットが重畳されると表示されます。

⑤ 5600K モード

5600KがONのとき、表示されます。

⑥ フィルター

現在選択されているフィルターの種類を表示します。数字 (1～3) はNDフィルター、アルファベット (A、B、C) はCCフィルターの選択を示します。

⑦ ゲイン値

GAINスイッチによる映像アンプのゲイン設定値 (dB) を示します。

⑧ フォーカスポジション

ズームレンズのフォーカスポジションを数値で表示します (0～255 (∞))。

⑨ バッテリー電圧

バッテリー電圧を表示します。

⑩ フォーカスポジションメーターのマーカ名

フォーカスポジションメーターのマーカ名が表示されます。

⑪ 設定変更／調整経過メッセージ表示部

メニューのMESSAGEの設定がOFF以外のときのみ有効です。

⑫ F 値

レンズのF値 (絞り値) を表示します。

⑬ リターン表示

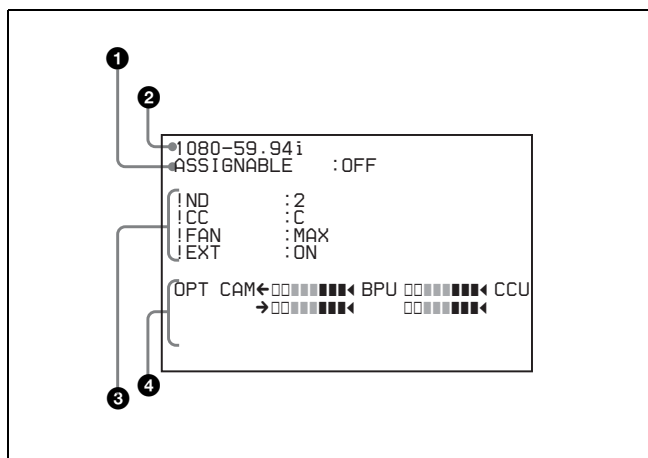
リターン画を表示しているときに表示されます。数字は、表示中のリターン画のチャンネルです。

⑭ シャッター／ECS

シャッター／ECSの状態を表示します。ただし、シャッターがOFFの場合、表示されません。

CANCEL/STATUSスイッチをSTATUS側にしたとき

CANCEL/STATUSスイッチをSTATUS側にすると、下記のような状態表示に切り換わります。



① アサインブルスイッチ機能表示

アサインブルスイッチ (6ページ) に割り当てられている機能を表示します。

◆ 割り当てられる機能については、OPERATIONメニュー <SWITCH ASSIGN1> 14 (U09) (37 ページ) をご覧ください。

② フォーマット表示

現在のビデオフォーマットを表示します。

③ ‘!’ 表示領域

< ‘!’ IND>機能を使用して標準以外の状況などを表示させる領域です。表示の条件はメニューで変更できます。

◆ 詳しくは OPERATION メニュー< ‘!’ IND> 02 (U05) (33 ページ) をご覧ください。

④ 受光レベル表示

受光レベルをセグメントで表示します。

CAM ← BPU : カメラの BPU 端子 (7 ページ) における受光レベル

CAM → BPU : BPU の CAMERA 端子における受光レベル

BPU ← CCU : BPU の CCU 端子における受光レベル

BPU → CCU : CCU の CAMERA 端子における受光レベル

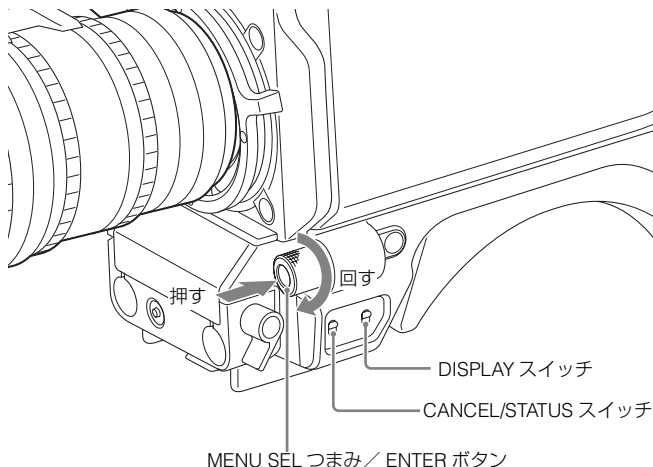
ご注意

HDCU2000/2500以外のカメラコントロールユニットを接続したときは正しく表示されないことがあります。

メニュー操作

本機では、ビューファインダー画面に表示されるメニューを使用して各種の設定が可能です。

メニュー操作には、下記のスイッチ類を使用します。



メニュー操作の開始

メニューの設定ページを表示させるには

DISPLAYスイッチをOFF からMENUに切り換えます。

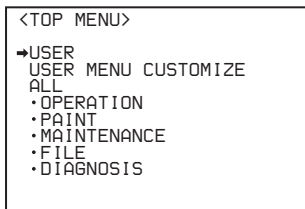
前回操作したメニューのページが表示されます。

(初めて操作するときはOPERATIONメニューのCONTENTSページが表示されます。)

TOP MENU画面を表示させるには

MENU SELつまみ / ENTERボタンを押しながらDISPLAYスイッチをOFF からMENUに切り換えると、画面右上にTOPが表示されます。これを選択すると、メニューの全体構成を示すTOP MENU画面が表示され、この画面からメニューを選択することができます。

TOP MENU 画面



TOPを表示しないようにするには

電源を再起動するか、CANCEL/STATUSスイッチをCANCEL側に押しながらDISPLAYスイッチをOFF からMENUに切り換えると、TOP 選択ができなくなります。

メニュー構成

USERメニュー

USERメニューは、ユーザーがOPERATION、PAINT、MAINTENANCE、FILE、DIAGNOSISメニューの中からよく使用するページを選択して構成するメニューです。ページの変更、追加、削除などはUSER MENU CUSTOMIZEメニューで行います。

USER MENU CUSTOMIZEメニュー

USERメニューを編集するとき使用します。

◆ 詳しくは「USER メニューの編集」(26 ページ)をご覧ください。

ALLメニュー

このメニューを選択すると、OPERATION、PAINT、MAINTENANCE、FILE、DIAGNOSISの各メニュー項目をひとつのメニューとして扱うことができます。

OPERATIONメニュー

カメラマンが本機を運用するための設定項目です。主に、ビューファインダー、インターカム、スイッチ設定などを行います。

PAINTメニュー

波形モニター等を使用してカメラの出力の波形を監視しながら、細かな画像調整をするための設定項目が含まれています。通常、各項目の設定を行うにはビデオエンジニアのサポートが必要です。

項目の設定は、主に外部のリモートコントロールパネルやマスターセットアップユニットで行います。

MAINTENANCEメニュー

変更頻度の少ないペイント項目やカメラ保守用の項目が含まれています。

FILEメニュー

リファレンスファイルなどの書き込みやクリアなど、ファイル操作を行います。

DIAGNOSISメニュー

自己診断情報を表示します。

TOP MENUからメニューを選択するには

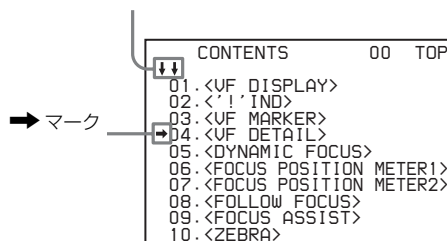
- 1 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して ➡マークを設定したいメニューに移動する。
- 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。
選択したメニューのCONTENTSページまたは前回操作したページが表示されます。

ページの選択

CONTENTSページから設定ページを選択するときは

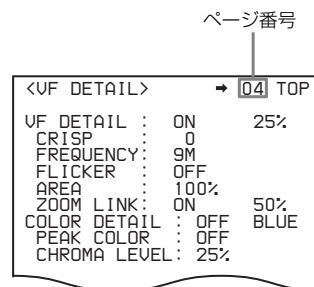
例：OPERATION メニューの CONTENTS ページ

画面スクロールが可能な場合、スクロール方向を示す矢印が表示されます。



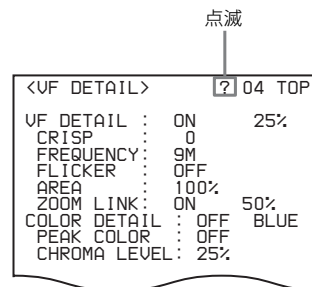
MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して ➡マークを設定したいページに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押します。

選択したページが表示されます。



設定ページを切り換えるには

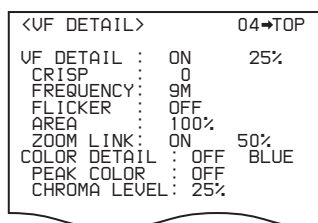
- 1 ページ番号の左に ➡マークが表示されていることを確認し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。
➡マークが?マークに変わり、点滅します。



- 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回してページを順次切り換える。
- 3 設定したいページが表示されたら、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。
?マークが ➡マークに戻り、選択したページの操作が可能になります。

TOP MENUに戻るには

ページの右上に表示されているTOPに➡マークを合わせ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押します。



TOP MENU画面が表示されます。

メニュー項目の設定

ページ番号の左に?マークが表示されているときは、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押して➡マークに切り換えます。表示されているページの設定が可能になります。

1 MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して➡マークを設定したい項目に移動する。

2 MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。
➡マークが?マークに変わり、点滅します。

3 MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して設定を変更する。
速く回すと数値が速く変化し、ゆっくり回すと微調整ができます。

変更した数値を取り消すには

MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す前にCANCEL/STATUSスイッチをCANCEL側に押すと、設定が元に戻ります。

設定を中断するには

DISPLAYスイッチをOFFにすると、メニュー表示が消えます。
再びDISPLAYスイッチをMENUにすると、設定を再開することができます。

4 MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。
?マークが➡マークに戻り、設定が確定します。

5 続けて同じページの設定項目を変更するには、手順1～4を繰り返す。

文字列を設定するには

ファイルIDなど、文字列を入力する項目に➡マークを合わせてMENU SELつまみ／ENTERボタンを押すと、四角いカーソルと選択できる文字のリストが表示されます。

カーソルは、MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して移動します。

1 入力位置にカーソルを移動し、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。

文字リストにカーソルが表示されます。

2 入力したい文字にカーソルを合わせ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。

手順1と2を繰り返します。

文字リストの下で行でINSを選択すると、カーソル位置にスペースを入力できます。

DELを選択すると、カーソル位置の文字を削除できます。

RETを選択すると、文字を変更しないで手順1に戻ります。

最大許容文字数まで（右端のマークまで）入力すると、カーソルが文字リストの右下のESCに移動します。

ENDを選択してMENU SELつまみ／ENTERボタンを押すと、新しく入力した文字列が確定します。

元の状態に戻りたいときは、ESCを選択してMENU SELつまみ／ENTERボタンを押してください。

設定値を標準設定に戻すには

項目を選択し、➡マークが表示されているときにMENU SELつまみ／ENTERボタンを3秒長押しすると、設定値がリファレンスファイルの状態に戻ります。

FILEメニューの<FILE CLEAR>ページの10 SEC CLEARをONにすると、さらに10秒長押しすることによって選択されている項目のリファレンスファイル値が工場出荷時の設定に戻ります。

メニュー操作を終了するには

DISPLAYスイッチをOFFにします。

USER メニューの編集

OPERATION、PAINT、MAINTENANCE、FILE、DIAGNOSISの各メニューから任意のページや項目を選択して、USERメニューに登録することができます。

使用頻度の高いページや項目をあらかじめUSERメニューに登録しておくことによって、設定を容易にすることができます。

工場出荷時には、以下のページがUSERメニューに設定されています。

メニューページ名	USER メニュー No.	ソースメニュー／ページ No.
<VF OUT>	U01	OPERATION 13
<VF DETAIL>	U02	OPERATION 04
<FOCUS ASSIST>	U03	OPERATION 09
<VF DISPLAY>	U04	OPERATION 01
<'!' IND>	U05	OPERATION 02
<VF MARKER>	U06	OPERATION 03
<CURSOR>	U07	OPERATION 11
<ZEBRA>	U08	OPERATION 10
<SWITCH ASSIGN1>	U09	OPERATION 14
<SWITCH ASSIGN2>	U10	OPERATION 15
<HEADSET MIC>	U11	OPERATION 18
<SYSTEM FORMAT>	U12	MAINTENANCE M09
<TEST OUT>	U13	MAINTENANCE M10
<SDI OUT>	U14	MAINTENANCE M11
<ROM VERSION>	U15	DIAGNOSIS D03

◆ 各ページの項目については、それぞれ「メニュー一覧」(29 ページ)のソースメニューの表を参照してください。

USERメニューは、USER MENU CUSTOMIZEメニューによってページや項目の追加、削除、順番入れ替えなどを行い、より使いやすく編集することができます。

項目単位で編集するには

USER MENU CUSTOMIZEメニューには、USERメニューに新しいページを追加し、任意の項目を追加する機能があります。工場出荷時、EDITページにはすでに項目が入っていますが、USER 1 EDIT～USER 19 EDITページは白紙の状態です。これらのページには、空白行も含めて最大10個の項目を登録することができます。

ページ内の項目を追加するには

以下の手順で操作します。

- 1 MENU SELつまみ／ENTERボタンを押しながらDISPLAYスイッチをOFF からMENUに切り換える。**
TOP MENU画面が表示されます。
- 2 MENU SELつまみ／ENTERボタンを回してUSER MENU CUSTOMIZEに→マークを移動させ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。**

USER MENU CUSTOMIZEメニューを初めて使用するとき、CONTENTSページが表示されます。

CONTENTS		E00 TOP
↓	01.EDIT PAGE	
	02.USER 1 EDIT	
→	03.USER 2 EDIT	
	04.USER 3 EDIT	
	05.USER 4 EDIT	
	06.USER 5 EDIT	
	07.USER 6 EDIT	
	08.USER 7 EDIT	
	09.USER 8 EDIT	
	10.USER 9 EDIT	

すでにこのメニューを使用している場合は、前回操作したページが表示されます。

- 3 CONTENTSページが表示されている場合は、USER 1 EDIT～USER 19 EDITのいずれかに→マークを移動させ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。**
他のページが表示されている場合は、MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して希望のページまで画面をスクロールさせ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。

例：USER 2 EDIT ページを選んだ場合

USER 2 EDIT		E03 TOP
→		

- 4 項目を追加したい箇所に→マークを合わせて（前図のように項目が表示されていない場合はそのまま）、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。**
EDIT FUNCTION画面が表示されます。

EDIT FUNCTION		ESC
→	INSERT	
	MOVE	
	DELETE	
	BLANK	

- 5 →マークをINSERTに合わせ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。**
前回追加された項目のページが表示されます。

<Sw STATUS>		P01 ESC
FLARE	: → ON	
GAMMA	: ON	
BLK GAM	: OFF	
KNEE	: ON	
WHT CLIP	: ON	
DETAIL	: ON	
LVL DEP	: ON	
SKIN DTL	: OFF	
MATRIX	: OFF	

6 項目を追加する。

- ① MENU SEL つまみ / ENTER ボタンを回して希望の項目があるページまで画面をスクロールさせ、MENU SEL つまみ / ENTER ボタンを押す。
- ② MENU SEL つまみ / ENTER ボタンを回して → マークを希望の項目に合わせ、MENU SEL つまみ / ENTER ボタンを押す。

USER 2 EDITページに戻り、追加した項目が表示されます。

7 手順4～6を繰り返して、残りの項目を追加する。 最大10項目を登録することができます。

ページ内の項目を削除するには
以下の手順で操作します。

- 1 削除したい項目に→マークを合わせ、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押す。
EDIT FUNCTION画面が表示されます。
- 2 DELETEを選択し、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押す。
画面表示が戻り、右上に「DELETE OK ? YES→NO」というメッセージが表示されます。
- 3 削除を実行する場合は、MENU SELつまみ / ENTERボタンを回して→マークをYESに移動してから、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押す。

ページ内の項目の順番を入れ替えるには
以下の手順で操作します。

- 1 移動したい項目に→マークを合わせ、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押す。
EDIT FUNCTION画面が表示されます。
- 2 MOVEを選択し、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押す。
画面表示が戻ります。
- 3 MENU SELつまみ / ENTERボタンを回して移動先に→マークを合わせ、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押す。

ITEM MOVE		ESC
↓↑		
→UF OUT	: COLOR	
UF DETAIL	: OFF	
MARKER	: ON	
CURSOR	: OFF	
ZEBRA SW	: OFF	
●ASSIGNABLE	: OFF	1

手順1で選んだ項目が、手順3で選んだ項目の上に移動します。
上の例では、一番上にASSIGNABLEが入り、他の項目が1つずつ下に移動します。

空白行を入れるには
以下の手順で操作します。

- 1 空白を入れる項目に→マークを合わせ、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押す。
EDIT FUNCTION画面が表示されます。
- 2 BLANKを選択し、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押す。
画面表示が戻り、指定した項目の上に空白行が挿入されます。

ご注意

すでに10個の項目があるページには、空白行を入れることはできません。

ページ単位で編集するには

USER MENU CUSTOMIZEメニューのEDIT PAGEを使用して、USERメニューに新しいページや既存のページを追加したり、削除したり、入れ替えたりすることができます。

ページを追加するには
以下の手順で操作します。

- 1 TOP MENU画面からUSER MENU CUSTOMIZEを選択する。
USER MENU CUSTOMIZEメニューを初めて使用するとき、CONTENTSページが表示されます。
すでにこのメニューを使用している場合は、前回操作したページが表示されます。
- 2 CONTENTSページが表示されている場合は、EDIT PAGEに→マークを移動させ、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押してEDIT PAGEを表示させる。
他のページが表示されている場合は、MENU SELつまみ / ENTERボタンを回してEDIT PAGEまで画面をスクロールさせ、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押す。

EDIT PAGE		E01 TOP
↓↑		
01.<UF OUT>		
→02.<UF DETAIL>		
03.<FOCUS ASSIST>		
04.<UF DISPLAY>		
05.<'I' IND>		
06.<UF MARKER>		
07.<CURSOR>		
08.<SPIRIT LEVEL>		
09.<ZEBRA>		
10.<SWITCH ASSIGN1>		

- 3 ページを追加したい箇所に→マークを合わせ、MENU SELつまみ / ENTERボタンを押す。
EDIT FUNCTION画面が表示されます。

EDIT FUNCTION		ESC
→INSERT		
MOVE		
DELETE		

- 4** INSERTを選択し、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。
選択画面が表示されます。

CONTENTS	ESC
↓↑	
→01.USER 1	
02.USER 2	
03.USER 3	
04.USER 4	
05.USER 5	
06.USER 6	
07.USER 7	
08.USER 8	
09.USER 9	
10.USER 10	

- 5** →マークを希望のページに合わせ、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。

手順3で選択した項目の上に新しい項目が追加されます。

ページ追加の操作を中止するには

上記の手順5でMENU SELつまみ／ENTERボタンを押す前に、
→マークを画面右上のESCに合わせ、MENU SELつまみ／
ENTERボタンを押します。
EDIT PAGEに戻ります。

ページを削除するには

以下の手順で操作します。

- 1** USER MENU CUSTOMIZEメニューのEDIT PAGE画面を開き、削除したいページに→マークを合わせてMENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。
EDIT FUNCTION画面が表示されます。

- 2** DELETEを選択し、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。

画面表示が戻り、右上に「DELETE OK ? YES→NO」というメッセージが表示されます。

ITEM DELETE	ESC
DELETE OK? YES→NO	
01.<VF OUT>	
02.<VF DETAIL>	
03.<FOCUS ASSIST>	
●04.<VF DISPLAY>	
05.<'!' IND>	
06.<VF MARKER>	
07.<CURSOR>	
08.<SPIRIT LEVEL>	
09.<ZEBRA>	
10.<SWITCH ASSIGN1>	

- 3** 削除を実行する場合は、MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して→マークをYESに移動してから、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。

ページの順番を入れ替えるには
以下の手順で操作します。

- 1** USER MENU CUSTOMIZEメニューのEDIT PAGE画面を開き、MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して移動したいページに→マークを合わせてMENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。
EDIT FUNCTION画面が表示されます。

- 2** MOVEを選択し、MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。
EDIT PAGE画面に戻ります。

- 3** MENU SELつまみ／ENTERボタンを回して移動先の場所に→マークを合わせる。

ITEM MOVE	ESC
↓↑	
01.<VF OUT>	
02.<VF DETAIL>	
03.<FOCUS ASSIST>	
→04.<VF DISPLAY>	
05.<'!' IND>	
06.<VF MARKER>	
07.<CURSOR>	
08.<SPIRIT LEVEL>	
●09.<ZEBRA>	
10.<SWITCH ASSIGN1>	

- 4** MENU SELつまみ／ENTERボタンを押す。
手順1で選んだページが手順3で選んだ場所に移動します。
上の例では、04に<ZEBRA>が入り、<VF DISPLAY>以降のページが1行ずつ下に移動します。

メニュー一覧

ビューファインダーに表示されるメニューを表で示します。

- 工場出荷時に USER メニューに設定されているページの場合は、表の No. 欄に USER メニューのページ番号が () で記載されています。
- 各メニューには、それぞれの CONTENTS ページ (No. 00) も用意されています。

凡例

HDLA : 大型レンズアダプター HDLA1500 シリーズ

CCU : カメラコントロールユニット HDCU2000 または HDCU2500

BPU : ベースバンドプロセッサユニット BPU4800

設定値欄の **ON, OFF, 0 など** : 下線部は出荷時の初期設定値です。

ENTER で実行 : MENU SEL つまみ / ENTER ボタンを押して実行する。

メニューツリー

OPERATIONメニュー

VF DISPLAY 01 (U04)	EX	FOCUS ASSIST 09 (U03)	INDICATOR
	ZOOM		AREA MARKER
	FOCUS	ZEBRA 10 (U08)	ZEBRA
	ND		ZEBRA1
	CC		ZEBRA2
	5600K	CURSOR 11 (U07)	CURSOR
	IRIS		BOX MEMORY
	GAIN	SPIRIT LEVEL 12	INDICATOR
	SHUTTER		ANGLE
	BATT	VF OUT 13 (U01)	VF OUT
	RETURN		RET MIX VF
	TALK		MIX DIRECTION
	MESSAGE		MIX VF MODE
	FOLLOW F		MIX VF LEVEL
	FOCUS NAME		CHARACTER LEVEL
	FOCUS FORM		PinP
'! 'IND 02 (U05)	ND	SWITCH ASSIGN1 14 (U09)	ASSIGNABLE
	CC		VF ASSIGN
	FAN		VF OUT SW
	EXT	SWITCH ASSIGN2 15 (U10)	LENS VTR S/S
	Y TALLY		FRONT RET1
VF MARKER 03 (U06)	MARKER		FRONT RET2
	LEVEL		HANDLE SW1
	CENTER		HANDLE SW2
	SAFETY ZONE	EXT SWITCH 16	RET CTRL CONNECTOR
	EFFECT		
	ASPECT	RETURN 17	RET1 SW SEL
VF DETAIL 04 (U02)	VF DETAIL		RET2 SW SEL
	COLOR DETAIL		RET3 SW SEL
	RETURN DISABLE		RET1 SW + RET2 SW
	DYNAMIC FOCUS	HEADSET MIC 18 (U11)	INTERCOM1
DYNAMIC FOCUS 05	DYNAMIC FOCUS		INTERCOM2
	FREQUENCY	INTERCOM1 19	INTERCOM1 RECEIVE SELECT
	ZOOM LINK		INTERCOM1/2
	CRISP		ENG/PROD
	LEVEL	INTERCOM2 20	INTERCOM2 RECEIVE SELECT
	PEAK COLOR		INTERCOM1/2
	THRESHOLD		ENG/PROD
	COLOR LEVEL	TRACKER 21	TRACKER RECEIVE SELECT
FOCUS POSITION METER1 06	FOCUS POSITION METER		INPUT LEVEL
	CURRENT FOCUS DIST		OUTPUT LEVEL L-CH
FOCUS POSITION METER2 07	ADJUSTED SIGN		OUTPUT LEVEL R-CH
	MARKER CONFIG	EARPHONE 22	EARPHONE RECEIVE SELECT
	CURRENT FOCUS DIST	OPERATOR FILE 23	READ (USB → CAM)
FOLLOW FOCUS 08	FOLLOW FOCUS		WRITE (CAM → USB)
	OFFSET ADJUST SENS		PRESET
	OFFSET CANCEL GAIN		FILE ID
			CAM CODE
			DATE

PAINTメニュー

SW STATUS P01	FLARE
	GAMMA
	BLK GAM
	KNEE
	WHT CLIP
	DETAIL
	LVL DEP
	SKIN DTL
	MATRIX
VIDEO LEVEL P02	WHITE
	BLACK
	FLARE
	GAMMA
	FLARE
	TEST
	HDR MODE
COLOR TEMP P03	WHITE
	COLOR TEMP
	BALANCE
	ATW
	MASTER
GAMMA P04	LEVEL
	COARSE
	TABLE
	GAMMA
	TEST
BLACK GAMMA P05	LEVEL
	RANGE
	TEST
SATURATION P06	SATURATION
	LOW KEY SAT
	RANGE
	TEST
KNEE P07	K POINT
	K SLOPE
	KNEE
	KNEE MAX
	KNEE SAT
	ABS
WHITE CLIP P08	W CLIP
	ABS
DETAIL 1 P09	DETAIL
	LEVEL
	LIMITER M
	LIMITER WHT
	LIMITER BLK
	CRISP
	LEVEL DEPEND
	ABS
DETAIL 2 P10	H/V RATIO
	FREQ
	MIX RATIO
	KNEE APT
	DTL H/V MODE
	ABS
HD DETAIL P11	DETAIL
	LEVEL
	LIMITER M
	LIMITER WHT
	LIMITER BLK
	CRISP
	LEVEL DEPEND
	H/V RATIO
	FREQ
	ABS

SKIN DETAIL P12	SKIN DTL
	SKIN GATE
	ABS
	NATURAL SKINDTL
	ZOOM LINK
	CH SW
	HUE
	PHASE
	WIDTH
	SAT
	LEVEL
	Y LIMIT
USER MATRIX P13	R-G
	R-B
	G-R
	G-B
	B-R
	B-G
	MATRIX
	ADAPTIVE MATRIX
MULTI MATRIX P14	PHASE
	HUE
	SAT
	GATE
	MATRIX
SHUTTER P15	SHUTTER
	ECS FREQ
NOISE SUPPRESSION P16	SUPPRESSION
FLICKER REDUCTION P17	REDUCTION
	POWER LINE FREQUENCY
	ACM TYPE
SCENE FILE P18	1
	2
	3
	4
	5
	STORE
	STANDARD
	READ (USB → CAM)
	WRITE (CAM → USB)
	FILE ID
	CAM CODE
	DATE
	DISSOLVE

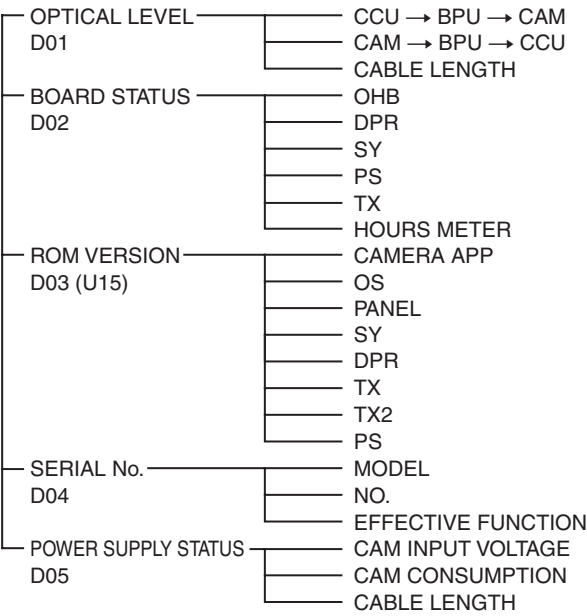
MAINTENANCEメニュー

AUTO SETUP M01	AUTO BLACK
	AUTO WHITE
	AUTO LEVEL
	TEST
WHITE SHADING M02	V SAW
	V PARA
	H SAW
	H PARA
	WHITE
BLACK SHADING M03	V SAW
	V PARA
	H SAW
	H PARA
	BLK SET
	BLACK
	MASTER GAIN
OHB MATRIX M04	OHB MATRIX
	MATRIX
AUTO IRIS M05	AUTO IRIS
	WINDOW
	OVERRIDE
	IRIS LEVEL
	APL RATIO
	IRIS GAIN
	IRIS CLOSE
LENS M06	F NO. DISP
	ALAC
	AF DISPLAY
MIC GAIN M07	MIC1
	MIC2
CALL/TALLY M08	CCU CALL
	CAM CALL
	UP TALLY BRIGHTNESS
	NUMBER DISPLAY
	CAMERA NUMBER
	TALLY GUARD
SYSTEM FORMAT M09 (U12)	CURRENT
TEST OUT M10 (U13)	OUTPUT
	VBS-OUT
	SYNC-OUT
	DOWN CONVERTER
SDI OUT M11 (U14)	SDI-1 OUT
	SDI-2 OUT/IN
	SDI-MONI OUT
TRUNK M12	TRUNK
	AUX REMOTE
	NETWORK TRUNK
DATE M13	DATE/TIME
	FILE TIMESTAMP FORMAT
BATTERY ALARM M14	BEFORE END
	END
OTHERS M15	FAN MODE
	WHITE SETUP MODE

FILEメニュー

OPERATOR FILE F01	READ (USB → CAM)
	WRITE (CAM → USB)
	PRESET
	STORE PRESET FILE
	FILE ID
	CAM CODE
	DATE
SCENE FILE F02	1
	2
	3
	4
	5
	STORE
	STANDARD
	READ (USB → CAM)
	WRITE (CAM → USB)
	FILE ID
	CAM CODE
	DATE
	DISSOLVE
REFERENCE F03	STORE FILE
	STANDARD
	READ (USB → CAM)
	WRITE (CAM → USB)
	FILE ID
	CAM CODE
	DATE
USER GAMMA F04	READ (USB → CAM)
	PRESET
	FILE ID
	CAM CODE
	DATE
LENS FILE F05	STORE FILE
	No.
	NAME
	F NO
	CENTER MARKER
OHB FILE F06	STORE FILE
MATRIX FILE F07	CUSTOM PRESET MATRIX
FILE CLEAR F08	PRESET OPERATOR
	REFERENCE (ALL)
	OHB WHITE SHADE (ALL)
	OHB BLACK SHADE
	OHB ND OFFSET
	OHB MATRIX

DIAGNOSISメニュー



OPERATIONメニュー

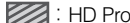
OPERATION			
ページ名	項目	設定値	備考
ページ No.			
<VF DISPLAY> 01 (U04)	EX	ON , OFF, 3S	
	ZOOM	ON, OFF , 3S	
	DISP	LEFT , RIGHT	
	FOCUS	ON, OFF , 3S	シリアルレンズ使用時のみ有効
	ND	ON , OFF, 3S	
	CC	ON , OFF, 3S	
	5600K	ON , OFF, 3S	
	IRIS	ON , OFF, 3S	
	GAIN	ON , OFF, 3S	
	SHUTTER	ON , OFF, 3S	
	BATT	ON, OFF , 3S	
	RETURN	ON , OFF, 3S	
	TALK	ON , OFF, 3S	
	MESSAGE	ALL , WRN, AT, OFF	ALL : すべてのメッセージを表示する。 WRN : ワーニング以上のメッセージを表示する。 AT : オートセットアップ以上のメッセージを表示する。
	FOLLOW F	ON, OFF , 3S	
	FOCUS NAME	OFF, 1S, 3S, 5S, ON	Marker Name の表示／非表示と表示時間の設定
	FOCUS FORM	NORMAL , ABS (AUTO)、ABS (m)、ABS (ft)	FOCUS 表示形式の設定 NORMAL : 0 ～ 255 で表示 (単位なし) ABS (AUTO) : メートル、フィートのうち、レンズに設定されている単位で表示 ABS (m) : メートルで表示 ABS (ft) : フィートで表示 Cooke レンズ装着時は、NORMAL 設定は不可。デフォルトは ABS (AUTO) になる。

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<'! 'IND> 02 (U05)	ND	ON , OFF 1, 2, 3 (組み合わせ可)	[IND] : '!' 表示 (22 ページ) のオン/オフ [NORMAL] : [IND] が ON に設定されていても点灯しない条件 (標準となる項目を設定しておくことによって、標準以外の項目が選択されたとき '!' 表示で通知することができます。) 例 : ND の初期設定では、1 以外の ND フィルターが選択されたとき '!' 表示されます。
	CC	ON , OFF A , B, C (組み合わせ可)	
	FAN	ON , OFF AUTO1 , AUTO2, MIN, MAX	
	EXT	ON , OFF	
	Y TALLY	ON , OFF	
<VF MARKER> 03 (U06)	MARKER	ON , OFF WHITE , BLACK, DOT	すべてのマーカの表示の ON/OFF を設定します。
	LEVEL	0 ~ 100%, 40%	
	CENTER	ON, OFF 1, 2, 3, 4	1 : 全クロス 2 : 全クロス穴あき 3 : 中心 4 : 中心穴あき
	SAFETY ZONE	ON, OFF 80.0, 90.0 , 92.5, 95.0%	
	EFFECT	ON, OFF , OFF(ASSIST IND), OFF(AF DISP)	
	ASPECT	ON, OFF 16:9, 15:9, 14:9, 13:9, 4:3 , (4.3)	
	MASK	ON, OFF , (ON) 0 ~ 15, 12	(4.3) : HDLA 装着時に HDLA 側で VF SCAN が 4:3 に設定されているとき (変更不可) (ON) : HDLA 装着時に HDLA 側で VF SCAN が 4:3 に設定されているとき (変更不可) アスペクト外の落とし込みレベル
	SAFETY	ON, OFF , OFF(AREA) 80.0, 90.0 , 92.5, 95.0%	
<VF DETAIL> 04 (U02)	VF DETAIL	ON , OFF, (ON), (OFF) 0 ~ 100%, (0 ~ 100%), 25%	() 表示 : HDLA 装着時 (変更不可)
	CRISP	-99 ~ +99, 0	
	FREQUENCY	9M , 14M, 18M	
	FLICKER	ON, OFF	
	AREA	100% , 70%, 60%, 50%, 40%	
	ZOOM LINK	ON , OFF 0%, 25%, 50% , 75%, 100%	
	COLOR DETAIL	ON, OFF BLUE , RED, YELLOW	
	PEAK COLOR	ON, OFF	
	CHROMA LEVEL	100%, 50%, 25% , 0%	
	RETURN DISABLE	ON, OFF	
	DYNAMIC FOCUS	ON, OFF , (OFF)	(OFF) : HD-HFR 撮像時

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<DYNAMIC FOCUS> 05	DYNAMIC FOCUS	OFF , ON	
	FREQUENCY	EXTRA-LOW , LOW, MIDDLE, HIGH, (AUTO)	検出する 4K 解像度の高周波信号の帯域 (AUTO) : ZOOM LINK が ON のとき表示
	ZOOM LINK	ON, OFF	
		MODE1 , MODE2, MODE3, MODE4	ズームポジションに応じた特性
		0%, 25%, 50%, 75%, 100%	WIDE 端のマークのレベル量
	CRISP	0% ~ 99%, 6%	検出される信号の微小成分を消す度合い
	LEVEL	LOW , MIDDLE, HIGH, VERY-HIGH	マーキング信号の輝度レベル
	PEAK COLOR	OFF, RED, BLUE, GREEN, BROWN, PURPLE, YELLOW	
	THRESHOLD	0% ~ 99%, 50%	PEAK COLOR で設定した色を付加する際のしきい値
	COLOR LEVEL	0% ~ 99%, 19%	PEAK COLOR 表示の色の濃さ
<FOCUS POSITION METER1> 06	FOCUS POSITION METER	OFF , ON	フォーカスポジションメーターの表示／非表示
	NEAR LIMIT	0 ~ 999	フォーカスポジションメーターの NEAR 端の設定
	FAR LIMIT	0 ~ 999	フォーカスポジションメーターの FAR 端の設定
	DIRECTION	HORIZONTAL , VERTICAL	フォーカスポジションメーターの表示方向の設定 HORIZONTAL : 画面上部に水平方向表示 VERTICAL : 画面右端に垂直方向表示
	SIZE	NORMAL , HALF	フォーカスポジションメーターの表示サイズの設定
	RULED LINE	OFF , ON	Ruled Line の表示／非表示
	INDEX COLOR	BLACK, WHITE	Index の色設定
	INDEX WIDTH	1 ~ 5	Index の幅設定
	MARKER WIDTH	1 ~ 9	Marker の軸部分の幅設定
	CURRENT FOCUS DIST		現在のフォーカス距離 (表示のみ)
<FOCUS POSITION METER2> 07	ADJUSTED SIGN		
	SENSE	1 ~ 5, 2	ADJUST 判定の感度の設定 数値が大きいほど高感度になる。
	NAME DISP	OFF, 1S, 3S, 5S, ON	Marker Name の表示／非表示と表示時間の設定
	FRAME DISP	OFF, 1S, 3S, 5S, ON	Adjust Frame の表示／非表示と表示時間の設定
	FRAME WIDTH	1 ~ 5, 2	Adjust Frame の幅設定
	MARKER CONFIG		
	[REG] MKR1, 2, 3	ENTER で実行	現在のフォーカス位置での Marker の登録 (Marker 登録操作を専用スイッチに割り当てている場合、 ここでの登録は不可)
	[DISP] MKR1, 2, 3	OFF , ON	Marker の表示／非表示 (Marker 登録操作を専用スイッチに割り当てている場合、 ここでの登録は不可)
	[COLOR] MKR1, 2, 3	RED , GREEN, BLUE, YELLOW, ORANGE, PURPLE, GRAY, BLACK, WHITE	Marker の三角部分の色設定 (Marker 登録操作を専用スイッチに割り当てている場合、 ここでの登録は不可)
	[NAME] MKR1, 2, 3	最大 8 文字 (初期値 : MARKER 1 ~ 3)	Marker Name の文字設定 ◆「文字列を設定するには」(25 ページ) 参照
	[POS] MKR1, 2, 3	0 ~ 999	Marker の位置設定
	CURRENT FOCUS DIST		現在のフォーカス距離 (表示のみ)

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<FOLLOW FOCUS> 08	FOLLOW FOCUS	OFF , ON	
	OFFSET ADJUST SENS	1, 2, 3 , 4, 5	MSU 側のオフセットを重量する感度
	OFFSET CANCEL GAIN	1, 2, 3 , 4, 5	デマンド側でオフセットをキャンセルする感度
<FOCUS ASSIST> 09 (U03)	INDICATOR	ON, OFF , OFF(EFFECT), OFF(AF DISP)	OFF(EFFECT) : <VF MARKER> の EFFECT が ON のとき表示 OFF(AF DISP) : <LENS> の AF DISPLAY が ON のとき表示
	MODE	BOX , B&W, COL	
		BTM , LEFT, TOP, RIGHT	
	LEVEL	0 ~ 100%, 40%	
		QUICK , SMOOTH	
	GAIN	0 ~ 99, 50	
	OFFSET	0 ~ 99, 50	
	AREA MARKER	ON, OFF , OFF(ASPECT)	OFF(ASPECT) : <VF MARKER> の ASPECT SAFETY が ON のとき表示
	SIZE	SMALL, MIDDLE , LARGE	
	POSITION	LEFT, CENTER , RIGHT	
	POSITION H	0 ~ 99, 50	
	POSITION V	0 ~ 99, 50	
<ZEBRA> 10 (U08)	ZEBRA	ON, OFF	
		1 , 2, 1&2	
	ZEBRA1		
	LEVEL	50 ~ 109%, 70%	
	WIDTH	0 ~ 30%, 10%	
<CURSOR> 11 (U07)	ZEBRA2	50 ~ 109%, 100%	
	CURSOR	ON, OFF	HDLA 装着時は 表示のみ
		WHITE , BLACK, DOT	
	LEVEL	0 ~ 100%, 40%	
	BOX/CROSS	BOX , CROSS	
	H POSITION	0 ~ 99, 50	HDLA 装着時は 表示のみ
	V POSITION	0 ~ 99, 50	
	WIDTH	0 ~ 99, 50	
	HEIGHT	0 ~ 99, 50	
	BOX MEMORY	1/2/3: OFF , ON	
	H POSI	1/2/3: 0 ~ 99, 50	
	V POSI	1/2/3: 0 ~ 99, 50	
	WIDTH	1/2/3: 0 ~ 99, 50	
	HEIGHT	1/2/3: 0 ~ 99, 50	
<SPIRIT LEVEL> 12	INDICATOR	ON, OFF	ON 時は <CURSOR> の BOX MEMORY が無効
	MODE	1 , 2	インジケータの表示形式を切り換える。
	REVERSE	OFF , ON	インジケータの左右の動作を反転する。
	SCALE	50% ~ 150%, 100%	インジケータの水平方向の幅を調整する。
	H POSITION	0 ~ 99, 50	
	V POSITION	0 ~ 99, 97	
	ANGLE		傾きの角度 (表示のみ)
	OFFSET	-99 ~ +99, 0	
	SET ZERO ANGLE	ENTER で実行	現在の傾きを水平 (0°) にする。
	CLEAR	ENTER で実行	OFFSET を 0 にする。

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<VF OUT> 13 (U01)	VF OUT	COLOR , Y, R, G, B, (COLOR), (Y), (R), (G), (B), (RET), (R+G), (R+B), (G+B)	() 表示 : HDLA 装着時 (変更不可)
	RET MIX VF	ON, OFF , (ON), (OFF)	() 表示 : HDLA 装着時 (変更不可)
	MIX DIRECTION	MAIN, RET	
	MIX VF MODE	Y-MIX , Y/C-MIX, WIRE(W), WIRE(B)	
	MIX VF LEVEL	0 ~ 99%	
	CHARACTER LEVEL	0 ~ 5, 4	
	PinP	OFF , RETURN, HD PROMPTER	
	POSITION	1 , 2, 3, 4	
	SIZE	1/2.5, 1/3 , 1/4	
	MODE	PinP OFF 時 : --- PinP RETURN 時 : 1, 2, 3, 4 PinP HD PROMPTER 時 : 1, 2	

 : Main 画、 : Return 画、 : HD Prompter 画

PinP : OFF時

Mode	RET SW OFF	RET SW ON
---		

PinP : RETURN時

Mode	RET SW OFF	RET SW ON
1		
2		
3		
4		

PinP : HD PROMPTER時

Mode	RET SW OFF	RET SW ON
1		
2		

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SWITCH ASSIGN1> 14 (U09)	ASSIGNABLE	OFF , RETURN1 SW, RETURN2 SW, INCOM1, INCOM2, VF DETAIL, MIX VF, 5600K, FAN MAX, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, CURSOR ALL OFF, FLAG, DYNAMIC FOCUS	HDLA 装着時 : OFF, EXTENDER, 5600K, FAN MAX, PinP, FLAG, DYNAMIC FOCUS
	VF ASSIGN	OFF, VF ASSIGN SW1 , VF ASSIGN SW2, PinP	HDLA 装着時のみ表示
	VF OUT SW	VF OUT RGB , FOCUS POSITION METER	HDLA 装着時のみ表示 (FOCUS POSITION METER に設定した場合、VF OUT SW (R/G/B) を Marker 1/2/3 の登録・表示に使用可能)
<SWITCH ASSIGN2> 15 (U10)	LENS VTR S/S	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW , INCOM1, INCOM2	レンズの VTR START/STOP スイッチへの機能割り当て
	FRONT RET1	OFF, RETURN1 SW , RETURN2 SW, INCOM1, INCOM2	
	FRONT RET2	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW , INCOM1, INCOM2	
	HANDLE SW1	OFF, RETURN1 SW , RETURN2 SW, INCOM1, INCOM2, ZOOM(T)	
	HANDLE SW2	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW, INCOM1 , INCOM2, ZOOM(W)	
	ZOOM SPEED	0 ～ 99, 20	

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<EXT SWITCH> 16	RET CTRL CONNECTOR		
	RET1 Pin5	OFF, RETURN1 SW , RETURN2 SW, RETURN3 SW, INCOM 1, INCOM 2, EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, SPIRIT LEVEL, FOCUS ASSIST, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2	RET CTRL コネクタの各ピンを GND (Pin3) と接触させると機能が動作します。
	RET2 Pin6	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW , RETURN3 SW, INCOM 1, INCOM 2, EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, SPIRIT LEVEL, FOCUS ASSIST, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2	
	RET3 Pin4	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW, RETURN3 SW , INCOM 1, INCOM 2, EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, SPIRIT LEVEL, FOCUS ASSIST, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, TALLY	
	INCOM1 Pin1	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW, RETURN3 SW, INCOM 1 , INCOM 2, EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, SPIRIT LEVEL, FOCUS ASSIST, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2	
	INCOM2 Pin2	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW, RETURN3 SW, INCOM 1, INCOM 2 , EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, SPIRIT LEVEL, FOCUS ASSIST, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2	
<RETURN> 17	RET1 SW SEL	CCU RET1, CCU RET2,	RET 1 ボタンの設定による
	RET2 SW SEL	CCU RET3, CCU RET4	RET 2 ボタンの設定による
	RET3 SW SEL	CCU RET1, CCU RET2, CCU RET3 , CCU RET4	
	RET1 SW + RET2 SW	RET1 SW , RET3 SW	RET 1 ボタンと RET 2 ボタンを同時に押したときの動作を切り換える。
			RET1 SW : RET 1 ボタンとして動作する。 RET3 SW : RET 3 ボタンとして動作する。

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<HEADSET MIC> 18 (U11)	INTERCOM1	<u>DYNAMIC</u> , CARBON, MANUAL	
	LEVEL	-60 dB, -50 dB, -40 dB, -30 dB, -20 dB, <u>(-60 dB)</u> , (-50 dB), (-40 dB), (-30 dB), (-20 dB)	() 表示 : DYNAMIC/CARBON 時 (変更不可)
		-6, <u>0</u> , 6 dB	入力ゲイン
	POWER	ON, OFF, (ON), <u>(OFF)</u>	() 表示 : DYNAMIC/CARBON 時 (変更不可)
	UNBAL	ON, OFF, <u>(ON)</u> , (OFF)	() 表示 : CARBON 時 (変更不可)
	INTERCOM2	<u>DYNAMIC</u> , CARBON, MANUAL	
	LEVEL	-60 dB, -50 dB, -40 dB, -30 dB, -20 dB, <u>(-60 dB)</u> , (-50 dB), (-40 dB), (-30 dB), (-20 dB)	() 表示 : DYNAMIC/CARBON 時 (変更不可)
		-6, <u>0</u> , 6 dB	入力ゲイン
	POWER	ON, OFF, (ON), <u>(OFF)</u>	() 表示 : DYNAMIC/CARBON 時 (変更不可)
	UNBAL	<u>ON</u> , OFF, (ON), (OFF)	() 表示 : CARBON 時 (変更不可)
<INTERCOM1> 19	INTERCOM1 RECEIVE SELECT	<u>SEPARATE</u> , MIX	
	INTERCOM	---, <u>LEFT</u> , RIGHT, BOTH	ENG/PROD の設定が MIX のときは、この項目は ENG と PROD に分かります (設定値は同じ)。
	PGM1	---, LEFT, <u>RIGHT</u> , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, <u>RIGHT</u> , BOTH	
	TRACKER	---, <u>LEFT</u> , RIGHT, BOTH	
	SIDE TONE	MU, 1 ~ 99, <u>50</u>	
	INTERCOM1/2	<u>SEPARATE</u> , MIX	
	ENG/PROD	<u>SEPARATE</u> , MIX	
<INTERCOM2> 20	INTERCOM2 RECEIVE SELECT	<u>SEPARATE</u> , MIX	
	INTERCOM	---, <u>LEFT</u> , RIGHT, BOTH	ENG/PROD の設定が MIX のときは、この項目は ENG と PROD に分かります (設定値は同じ)。
	PGM1	---, LEFT, <u>RIGHT</u> , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, <u>RIGHT</u> , BOTH	
	TRACKER	---, LEFT, <u>RIGHT</u> , BOTH	
	SIDE TONE	MU, 1 ~ 99, <u>50</u>	
	INTERCOM1/2	<u>SEPARATE</u> , MIX	
	ENG/PROD	<u>SEPARATE</u> , MIX	
<TRACKER> 21	TRACKER RECEIVE SELECT	<u>SEPARATE</u> , MIX	
	INTERCOM	---, <u>LEFT</u> , RIGHT, BOTH	ENG/PROD の設定が MIX のときは、この項目は ENG と PROD に分かります (設定値は同じ)。
	PGM1	---, LEFT, <u>RIGHT</u> , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, <u>RIGHT</u> , BOTH	
	INPUT LEVEL	-20 dBu, <u>0 dBu</u> -6 dBu, <u>0 dBu</u> , 6 dBu	
	OUTPUT LEVEL L-CH	<u>0 dBu</u> , -6 dBu, -12 dBu, -18 dBu,	
	OUTPUT LEVEL R-CH	-20 dBu, -24 dBu	

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<EARPHONE> 22	EARPHONE RECEIVE SELECT	SEPARATE , MIX	
	INTERCOM	---, LEFT , RIGHT, BOTH	ENG/PROD の設定が MIX のときは、この項目は ENG と PROD に分かれます（設定値は同じ）。
	PGM1	---, LEFT, RIGHT , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, RIGHT , BOTH	
	TRACKER	---, LEFT , RIGHT, BOTH	
	LEVEL	0 ～ 99, 50	
<OPERATOR FILE> 23	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	オペレーターファイルを USB メモリーから読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	現在のオペレーターファイル項目の設定を USB メモリーに書き込む。
	PRESET	ENTER で実行	本体のメモリーに保存されているオペレーターファイルのデータ呼び出す。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するオペレーターファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」（25 ページ）参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ

PAINT メニュー

PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SW STATUS> P01	FLARE	ON , OFF	
	GAMMA	ON , OFF	
	BLK GAM	ON, OFF	
	KNEE	ON , OFF	
	WHT CLIP	ON , OFF	
	DETAIL	ON , OFF	
	LVL DEP	ON , OFF	
	SKIN DTL	ON, OFF	
	MATRIX	ON, OFF	
<VIDEO LEVEL> P02	WHITE	R/G/B: -99 ～ +99, 0	R、G、B、M（マスター）を個別に設定可能 （WHITE は M は設定不可）
	BLACK	R/G/B/M: -99 ～ +99, 0	
	FLARE	R/G/B/M: -99 ～ +99, 0	
	GAMMA	R/G/B/M: -99 ～ +99, 0	
	FLARE	ON , OFF	
	TEST	OFF , SAW, 10STEP	
	HDR MODE	OFF , LIVE-HDR	表示のみ
	SDR GAIN	---, 0.0 dB ～ -15 dB	---：HDR MODE が OFF のとき表示（変更不可）
	BLACK HDR OFFSET	---, -99 ～ +99, 0	

PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<COLOR TEMP> P03	WHITE	R/G/B: -99 ~ +99, 0	
	AUTO WHITE BALANCE	ENTER で実行	
	COLOR TEMP	0 K ~ 65535 K, 3200 K	
	BALANCE	-99 ~ +99, 0	
	ATW	ON, OFF	
	SPEED	1, 2, 3, 4	
	MASTER	-3.0 dB ~ +12.0 dB, 0.0 dB	
<GAMMA> P04	LEVEL	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	R、G、B、M（マスター）を個別に設定可能
	COARSE	0.35 ~ 0.90（0.05 ステップ）, 0.45	
	TABLE	STANDARD , HYPER, USER	
		1, 2, 3, 4, 5 , 6, 7	STANDARD、または USER 選択時（USER 選択時は、1 ~ 5 のみ） 1 ：カムコーダー相当 2 ：×4.5 ゲイン 3 ：×3.5 ゲイン 4 ：SMPTE-240M 相当 5 ：ITU-R709 相当 6 ：×5.0 ゲイン 7 ：×5.0-709
		1, 2, 3, 4	HYPER 選択時 1 ：325% to 100% 2 ：460% to 100% 3 ：325% to 109% 4 ：460% to 109%
	GAMMA	ON , OFF	
	TEST	OFF , SAW, 10 STEP	
	LEVEL	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	R、G、B、M（マスター）を個別に設定可能
	RANGE	LOW, L.MID, H.MID, HIGH	
	TEST	OFF , SAW, 10 STEP	
<BLACK GAMMA> P05	SATURATION	-99 ~ +99, 0	
	LOW KEY SAT	-99 ~ +99, 0	
	RANGE	LOW, L.MID, H.MID, HIGH	
	TEST	OFF , SAW, 10 STEP	
	TEST	OFF , SAW, 10 STEP	
<SATURATION> P06	SATURATION	-99 ~ +99, 0	
	LOW KEY SAT	-99 ~ +99, 0	
	RANGE	LOW, L.MID, H.MID, HIGH	
	TEST	OFF , SAW, 10 STEP	
	TEST	OFF , SAW, 10 STEP	
<KNEE> P07	K POINT	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	R、G、B、M（マスター）を個別に設定可能
	K SLOPE	R/G/B/M: -99 ~ +99, 0	ABS 時は M 以外は絶対値表示
	KNEE	ON , OFF	
	KNEE MAX	ON, OFF	
	KNEE SAT	-99 ~ +99, 0	
		ON, OFF	
	ABS		反転表示：ABS（絶対値）モード
<WHITE CLIP> P08	W CLIP	-99 ~ +99, 0	
		ON , OFF	
	ABS		反転表示：ABS（絶対値）モード

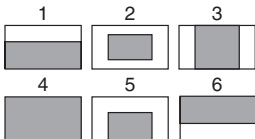
PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<DETAIL 1> P09	DETAIL	ON , OFF	
	LEVEL	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	LIMITER [M]	-99 ~ +99, 0	
	LIMITER [WHT]	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	LIMITER [BLK]	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	CRISP	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	LEVEL DEPEND	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
		ON , OFF	
<DETAIL 2> P10	ABS		反転表示：ABS（絶対値）モード
	H/V RATIO	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	FREQ	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	MIX RATIO	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	KNEE APT	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
		ON, OFF	
	DTL H/V MODE	H/V , V only	
	ABS		反転表示：ABS（絶対値）モード
<HD DETAIL> P11	DETAIL	ON , OFF	
	LEVEL	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	LIMITER [M]	-99 ~ +99, 0	
	LIMITER [WHT]	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	LIMITER [BLK]	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	CRISP	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	LEVEL DEPEND	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
		ON , OFF	
	H/V RATIO	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	FREQ	-99 ~ +99, 0	ABS 時は絶対値表示
	ABS		反転表示：ABS（絶対値）モード
<SKIN DETAIL> P12	SKIN DTL	ON, OFF	
	SKIN GATE	OFF , 1, 2, 3, (MAT)	1, 2, 3 ：いずれか 1 チャンネルのみスキングート機能をオンにできる。 (MAT) ：<MULTI MATRIX> の GATE が ON のとき表示
	ABS		反転表示：ABS（絶対値）モード
	NATURAL SKINDTL	OFF , ON	
	ZOOM LINK	OFF , ON	
	TELE	0 ~ 99	
	WIDE	0 ~ 99	
	CH SW	1: (ON), 2/3: ON, OFF	スキントーンディテール機能をチャンネルごとに設定 (チャンネル 1 は常に ON)
	HUE	1/2/3: ENTER で実行	
	PHASE	1/2/3: 0 ~ 359	
	WIDTH	1/2/3: 0 ~ 90, 29	ABS 時は LEVEL のみ絶対値表示
	SAT	1/2/3: -99 ~ +99, -89	
	LEVEL	1/2/3: -99 ~ +99, 0	
	Y LIMIT	1/2/3: 0 ~ 99	

PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<USER MATRIX> P13	R-G	-99 ~ +99, 0	
	R-B	-99 ~ +99, 0	
	G-R	-99 ~ +99, 0	
	G-B	-99 ~ +99, 0	
	B-R	-99 ~ +99, 0	
	B-G	-99 ~ +99, 0	
	MATRIX	ON, OFF	
	PRESET	---, ON, OFF ---, SMPTE-240M, ITU-709, SMPTE-WIDE, NTSC, EBU, ITU- 601, CUSTOM1, CUSTOM2, CUSTOM3, CUSTOM4, CUSTOM5	
	USER	---, ON, OFF	
	MULTI	---, ON, OFF	
<MULTI MATRIX> P14	ADAPTIVE MATRIX	OFF , ON	
	LEVEL	0 ~ 7, 0	
	PHASE	0 , 23, 45, 68, 90, 113, 135, 158, 180, 203, 225, 248, 270, 293, 315, 338	PHASE でマルチマトリックス補正機能を調整する軸（角度）を選択し、HUE、SAT を設定する（16 軸それぞれに個別に HUE、SAT を設定可能）。
	HUE	-99 ~ +99, 0	
	SAT	-99 ~ +99, 0	
	ALL CLEAR	ENTER で実行	
	GATE	ON, OFF , (SKN)	(SKN) : <SKIN DETAIL> の SKIN GATE が ON のとき表示
	MATRIX	ON, OFF	
	PRESET	---, ON, OFF ---, SMPTE-240M, ITU-709, SMPTE-WIDE, NTSC, EBU, ITU- 601, CUSTOM1, CUSTOM2, CUSTOM3, CUSTOM4, CUSTOM5	
	USER	---, ON, OFF	
<SHUTTER> P15	MULTI	---, ON, OFF	
	SHUTTER	ON, OFF , (ON), (OFF)	() 表示：リモートコントロールユニット／パネル、CCU 非接続時（変更不可）
		59.94P 時： 1/100 , 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, ECS 50P 時： 1/60, 1/125 , 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, ECS	ステップシャッターの選択
	ECS FREQ	59.94P 時： 59.96 ~ 4600 Hz 50P 時： 50.03 ~ 4600 Hz	
<NOISE SUPPRESSION> P16	SUPPRESSION	0 ~ 100% ON, OFF	
<FLICKER REDUCTION> P17	REDUCTION	ON, OFF	ご注意 REDUCTION の ON/OFF 切り換え時に画面にノイズが発生しますが、故障ではありません。 加算フレームモードの設定 フリッカー低減効果とモーションラグに応じてモード設定してください。
	POWER LINE FREQUENCY	50 , 60	
	ACM TYPE	1, 2, 3, 4	

PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SCENE FILE> P18	1		シーンファイル（ペイントデータ）の保存と呼び出し： カメラのメモリーにシーンファイルを保存するときは、 STORE の後にファイル番号を指定。 読み出すときは、ファイル番号指定のみ。
	2		
	3		
	4		
	5		
	STORE	ENTER で実行	
	STANDARD	ENTER で実行	標準のペイントデータを読み出す。
	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	5 個のシーンファイルを USB メモリーから本体のメモリーに読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	5 個のシーンファイルを本体のメモリーから USB メモリーに書き出す。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するシーンファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」（25 ページ）参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
	DISSOLVE	OFF , ON	シーンファイルの切り換えをシームレスにする機能
	SPEED	0.2 ～ 2.8 (0.2 ステップ) , 3 ～ 10 (1 ステップ) , 0.2	

MAINTENANCE メニュー

MAINTENANCE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<AUTO SETUP> M01	AUTO BLACK	ENTER で実行	
	AUTO WHITE	ENTER で実行	
	AUTO LEVEL	ENTER で実行	
	TEST	OFF , SAW, 10STEP	
<WHITE SHADING> M02	V SAW	R/G/B: -99 ～ +99, 0	R、G、B を個別に設定可能
	V PARA	R/G/B: -99 ～ +99, 0	
	H SAW	R/G/B: -99 ～ +99, 0	
	H PARA	R/G/B: -99 ～ +99, 0	
	WHITE	R/G/B: -99 ～ +99, 0	
<BLACK SHADING> M03	V SAW	R/G/B: -99 ～ +99, 0	R、G、B を個別に設定可能。 BLACK のみ M（マスター）の設定も可能
	V PARA	R/G/B: -99 ～ +99, 0	
	H SAW	R/G/B: -99 ～ +99, 0	
	H PARA	R/G/B: -99 ～ +99, 0	
	BLK SET	R/G/B: -99 ～ +99, 0	
	BLACK	R/G/B/M: -99 ～ +99, 0	
<OHB MATRIX> M04	MASTER GAIN	-6, -3, 0 , 3, 6, 9, 12 dB	
	OHB MATRIX	ON, OFF	
	MATRIX	ON, OFF	

MAINTENANCE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<AUTO IRIS> M05	AUTO IRIS	ON, OFF , (ON), (OFF)	() 表示：リモートコントロールユニット／パネル、CCU 非接続時（変更不可）
	WINDOW	1 , 2, 3, 4, 5, 6	オートアイリス検出ウィンドウを選択  それぞれの図の網かけ部で光を検出する。
	OVERRIDE	-99 ～ 99, 0 , ---	オートアイリスレベルの明るさの基準を一時的に±2絞りの範囲で変更 -99：2絞り閉じ気味 99：2絞り開け気味 ---：OFF 時 電源を切ると設定値は --- に戻る。
	IRIS LEVEL	-99 ～ +99, 0	±4絞り
	APL RATIO	-99 ～ +99, 65	
	IRIS GAIN	-99 ～ +99, 0	
	IRIS CLOSE	ON, OFF	
	F NO. DISP	CONTROL , RETURN	AUTO IRIS が OFF のときのパネルの IRIS 表示の切り換え CONTROL ：カメラからの値を表示 RETURN ：レンズからの戻り値を表示 (AUTO IRIS が ON のときは、常にレンズからの戻り値を表示)
<LENS> M06	ALAC	AUTO , OFF	AUTO 時は右側に状態が表示される。 (ACTIVE)：補正中 (WAIT)：レンズの初期化完了待ち (STOP)：非対応レンズのため補正 OFF
	AF DISPLAY	ON, OFF , OFF(EFFECT), OFF(ASSIST IND)	OFF(EFFECT) ：<VF MARKER> の EFFECT が ON のとき表示 OFF(ASSIST IND) ：<FOCUS ASSIST> の INDICATOR が ON のとき表示
<MIC GAIN> M07	MIC1	20, 30, 40, 50, 60 dB	
	MIC2	20, 30, 40, 50, 60 dB	
<CALL/TALLY> M08	CCU CALL	OFF, ON , ---	---：CCU 非接続時（変更不可）
	CAM CALL	OFF , ON, ---	
	UP TALLY BRIGHTNESS		HDLA 接続時のみ有効
	TALLY	0 ～ 100, 50	
	NUMBER	0 ～ 100, 50	
	NUMBER DISPLAY	AUTO , OFF, ON	
	CAMERA NUMBER	---, 1 ～ 96	
	CCU LINK	OFF , ON	ON にすると CCU 番号と同じ数字が CAMERA NUMBER になる。
	TALLY GUARD		レッドタリールランプが点灯時に状態を変化させない機能
	EXTENDER	OFF , ON	
	FILTER DISC	OFF , ON	

MAINTENANCE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SYSTEM FORMAT> M09 (U12)	CURRENT	3840x2160/59.94P(x8), 3840x2160/59.94P(x4), 3840x2160/50P(x8), 3840x2160/50P(x4), 1920x1080/59.94P(x16), 1920x1080/59.94P(x8), 1920x1080/50P(x16), 1920x1080/50P(x8)	現在のフォーマットを表示
<TEST OUT> M10 (U13)	OUTPUT	SD-SYNC, HD-SYNC, VF, VBS	
	VBS-OUT		OUTPUT が VBS のとき表示
	CHARACTER	ON, OFF	
	GAIN	-99 ~ +99, 0	
	CHROMA	-99 ~ +99, 0	
	SETUP	ON, OFF	フォーマットが NTSC のとき表示
	SYNC-OUT		OUTPUT が SD-SYNC、HD-SYNC のとき表示
	V-PHASE	-999 ~ +999, 0	
	H-PHASE	-999 ~ +999, 0	
	DOWN CONVERTER		OUTPUT が VBS のとき表示
	SELECT	MAIN , RET, VF	
	ASPECT	SQ , EC	
<SDI OUT> M11 (U14)	SDI-1 OUT	OFF, MAIN/LINK-A , 3G-SDI, HD PROMPTER	
	SDI-2 OUT/IN	OFF, MAIN/LINK-B , HD TRUNK IN	
	SDI-MONI OUT	MAIN, VF , RET, SD-SDI, OFF	
	CHARACTER	ON, OFF	
	EMB AUDIO	OFF , MIC, PGM	
	DOWN CONVERTER		SDI-MONI OUT が SD-SDI のとき表示
	SELECT	MAIN , RET, VF	
	ASPECT	SQ , EC	
<TRUNK> M12	TRUNK	ON , OFF	
	INTERFACE	232c , 422A	
	AUX REMOTE		表示のみ
	NETWORK TRUNK		表示のみ
	LINK		
<DATE> M13	DATE/TIME	2000 ~ 2099/01 ~ 12/00 ~ 31 00 ~ 23 : 00 ~ 59	
	FILE TIMESTAMP FORMAT	1 Y/Mn/D, 2 Mn/D, 3 D/M/Y, 4 D/M, 5 M/D/Y , 6 M/D	Y : 年 Mn : 月 (数字) M : 月 (英語語) D : 日
<BATTERY ALARM> M14	BEFORE END	11.5 ~ 17.0 V	
	END	11.0 ~ 11.5 V	
<OTHERS> M15	FAN MODE	OFF, AUTO1 , AUTO2, MIN, MAX	AUTO1 : 通常回転 AUTO2 : スロー回転
	WHITE SETUP MODE	AWB, A.LVL	

FILE メニュー

本機では、操作や調整を容易にするため、オペレーターファイル、リファレンスファイル、シーンファイル、OHbファイル、レンズファイルの5種類のファイルを使用できます。
オペレーターファイルには、OPERATIONメニューで設定でき

る項目とカスタマイズしたUSERメニューを保存できます。

- ◆ それぞれのファイルに含まれる具体的な項目については、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

FILE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<OPERATOR FILE> F01	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	オペレーターファイルを USB メモリーから読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	現在のオペレーターファイル項目の設定を USB メモリーに書き込む。
	PRESET	ENTER で実行	本体のメモリーに保存されているオペレーターファイルのデータを読み出す。
	STORE PRESET FILE	ENTER で実行	現在のオペレーターファイル項目の設定を、本体のメモリーのオペレーターファイルに書き込む。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するオペレーターファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(25 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
<SCENE FILE> F02	1		シーンファイル（ペイントデータ）の保存と読み出し： カメラのメモリーにシーンファイルを保存するときは、STORE の後にファイル番号を指定。 読み出すときは、ファイル番号指定のみ。
	2		
	3		
	4		
	5		
	STORE	ENTER で実行	
	STANDARD	ENTER で実行	標準のペイントデータを読み出す。
	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	5 個のシーンファイルを USB メモリーから本体のメモリーに読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	5 個のシーンファイルを本体のメモリーから USB メモリーに書き出す。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するシーンファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(25 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
	DISSOLVE	OFF, ON	シーンファイルの切り換えをシームレスにする機能
	SPEED	0.2 ～ 2.8 (0.2 ステップ) , 3 ～ 10 (1 ステップ) , 0.2	

FILE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<REFERENCE> F03	STORE FILE	ENTER で実行	リファレンスファイル項目の現在の状態を、内蔵メモリーのリファレンスファイルに書き込む。
	STANDARD	ENTER で実行	内蔵メモリーに保存されているリファレンスファイルを読み出す。
	ALL PRESET	ENTER で実行	内蔵メモリーに保存されているすべての設定を工場設定に戻す。
	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	リファレンスファイルを USB メモリーから読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	リファレンスファイル項目の現在の状態を USB メモリーに書き出す。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するリファレンスファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(25 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
<USER GAMMA> F04	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	ユーザーガンマファイルを USB メモリーから読み込む。
	PRESET	ENTER で実行	本体のメモリーに保存されているユーザーガンマファイルのデータを読み出す。
	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するユーザーガンマファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(25 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
<LENS FILE> F05	STORE FILE	ENTER で実行	センターマーカースは含みません。
	No.	1 ～ 17, 1	1 ～ 16：非シリアルレンズ使用時（大型レンズ使用時はレンズ内部の設定に従います。） 17：シリアルレンズ使用時
	NAME		非シリアルレンズ使用時のみ変更可
	F NO	F1.0 ～ F3.4, F1.7	非シリアルレンズ使用時のみ変更可
	CENTER MARKER		センターマーカース位置の設定と保存
	H POS	-20 ～ +20, 0	H POS：数値が大きいほど右
	V POS	-20 ～ +20, 0	V POS：数値が大きいほど下
	STORE	ENTER で実行	
<OHB FILE> F06	STORE FILE	ENTER で実行	CMOS イメージセンサー固有の項目のオフセット値を保存（一度保存すれば、取り付け直したときの再保存は不要）

FILE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<MATRIX FILE> F07	CUSTOM PRESET MATRIX		マトリックスのプリセットファイルの保存：
	STORE FILE		保存したファイルは <USER MATRIX> の PRESET を
	1	ENTER で実行	CUSTOM1 ～ 5 に設定することで呼び出すことができ
	2	ENTER で実行	る。
	3	ENTER で実行	
	4	ENTER で実行	
	5	ENTER で実行	
	CLEAR ALL	ENTER で実行	すべてのファイルを消去
	READ (USB → CAM)	ENTER で実行	5 個のプリセットファイルを USB メモリーから本体のメモリーに読み込む。
	WRITE (CAM → USB)	ENTER で実行	5 個のプリセットファイルを本体のメモリーから USB メモリーに書き出す。
<FILE CLEAR> F08	FILE ID	最大 16 文字	USB メモリーに保存するプリセットファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(25 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
	PRESET OPERATOR	ENTER で実行	
	REFERENCE (ALL)	ENTER で実行	
	10 SEC CLEAR	ON, OFF	メニューで選択している項目をクリアする機能の ON/OFF ◆「設定値を標準設定に戻すには」(25 ページ) 参照
	OHB WHITE SHADE (ALL)	ENTER で実行	
	OHB BLACK SHADE	ENTER で実行	
	OHB ND OFFSET	ENTER で実行	
	OHB MATRIX	ENTER で実行	

DIAGNOSIS メニュー

表示のみで、カメラ機能の設定はできません。
ただし、一部の項目では、表示のための条件設定を行います。

DIAGNOSIS			
ページ名 ページ No.	項目	表示	備考
<OPTICAL LEVEL> D01	CCU → BPU → CAM	GREEN, YELLOW, RED, NG, NO SIGNAL	CCU または BPU 接続時のみ表示
	CAM → BPU → CCU	GREEN, YELLOW, RED, NG, NO SIGNAL	CCU または BPU 接続時のみ表示
	CABLE LENGTH	x.x km	カメラケーブル長を表示 (CCU 接続時のみ表示)
<BOARD STATUS> D02	OHB	OK, NG	
	DPR	OK, NG	
	SY	OK, NG	
	PS	OK, NG	
	TX	OK, NG	
	HOURS METER	xxxx H	通算起動時間を表示

DIAGNOSIS			
ページ名 ページ No.	項目	表示	備考
<ROM VERSION> D03 (U15)	CAMERA APP	Vx.xx	
	OS	Vx.xx	
	PANEL	Vx.xx	HDLA 装着時のみ表示
	SY	Vx.xx	
	DPR	Vx.xx	
	TX	Vx.xx	
	TX2	Vx.xx	
	PS	Vx.xx	
<SERIAL No.> D04	MODEL	HDC4800	
	NO.	xxxxxxx	
	EFFECTIVE FUNCTION		オプション機能搭載時のみ、搭載オプション機能を表示
<POWER SUPPLY STATUS> D05	CAM INPUT VOLTAGE	0% ~ 100%, 100% OVER	CCU 側の出力電圧に対するカメラ側の入力電圧の比率を表示
	CAM CONSUMPTION	xx.x A	カメラの消費電流値を表示
	CABLE LENGTH	x.x km	CCU が測定したケーブル長の値を表示 (CCU 接続時のみ表示)
ご注意 この表示は、カメラの給電状態を簡易的に表示するもののため、誤差があります。目安としてお使いください。			

付録

使用上のご注意

レーザービームについてのご注意

レーザービームは、CMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

使い終わったら

電源スイッチを切ってください。

使用、保管場所

低温の環境下でカメラを起動した場合、機内の温度によっては、すべての機能が動作するまでに10分程度かかることがあります。水平な場所、空調のある場所に保管してください。本体が濡れた場合、充分に乾燥させてから保管してください。次のような場所での使用および保管は避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所
- 湿気の多い所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発生する所
- 直射日光が長時間あたる所や暖房器具の近く

結露

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

有寿命部品について

- ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。
- 電解コンデンサの寿命は約5年です。（常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合）したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

スタンドアロン動作について

BPU4800に接続しない状態で表示される画像は、メニュー設定確認用です。PAINT調整機能は動作しません。

本機搭載のCMOSイメージセンサーの現象

ご注意

撮影画面に出る下記の現象は、イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

イメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これはイメージセンサーの原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン（感度）を上げたとき

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯、LEDによる照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したように見えることがあります。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

エラーメッセージ

操作中に異常が検出されたときは、下記のメッセージが表示されます。

ご注意

メッセージを表示させるには、DISPLAYスイッチをDISPLAYまたはMENUに設定してください。

メッセージ	内容
TEMP WARNING	内部温度が異常に高い。
FAN STOP	内蔵ファンが正しく回転していない。
SET SYSTEM CLOCK	内蔵時計の日時が設定されていない。
OHB BLOCK NG!	光学ブロックに異常が検出された。
MSU RPN BUSY	外部コントロール機器でRPN補正操作中に、本機のメニューでRPN補正を操作した。サービス担当者に相談する。
VF RPN BUSY	本機のメニューでRPN補正操作中に、外部コントロール機器でRPN補正を操作した。サービス担当者に相談する。
NO USB FLASH DRIVE	USBメモリーが装着されていない状態で、USBメモリーの操作を行った。
USB FLASH DRIVE ERROR	USBメモリーへのアクセス中にエラーが発生した。
FORMAT ERROR!	フォーマットされていないUSBメモリーにアクセスした。
WRITE PROTECTED	ライトプロテクトされているUSBメモリーにファイルを書き込もうとした。

メッセージ	内容
FILE ERROR	USB メモリーからファイルを読み込むときエラーが発生した。
OTHER MODEL'S FILE	互換性のない他の機種 of ファイルを読み込もうとした。
FILE NOT FOUND	読み出そうとしたファイルが USB メモリーに存在しない。

USB メモリーの取り扱い

USB端子にUSBメモリーを接続して、設定データファイルを保存・呼び出すことができます。

以下のソニー製USBメモリーを使用することをおすすめします。

- USM4GL
- USM4GM
- USM8GN
- USM8GL
- USM8GQ
- USM32GL
- USM32GLX
- USM32GN
- USM32GR
- USM32GQ
- USM64GLX
- USM64GP
- USM64GQ
- USM16GR
- USM8GT
- USM16GU
- USM4GV
- USM8GR
- USM8GQX
- USM32W
- USM16SA
- USM8X

ご注意

- 推奨品以外の USB メモリーは、USB 端子に接続しても認識されないことがあります。
- USB メモリーは FAT16 または FAT32 ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。推奨品はフォーマットされていますので、購入後そのままご使用できます。

仕様

HDC4800

一般	
電源	AC 240 V、1.4 A (max.) DC 180 V、1.0 A (max.) DC 12 V、9.5 A (max.)
動作温度	-20 °C ~ +45 °C
保存温度	-20 °C ~ +60 °C
質量	約 5.0 kg (本体のみ)
外形寸法	54 ページ参照
撮像素子	
撮像素子	S-35 mm CMOS イメージセンサー
方式	単板
有効画素数	QFHD : 3840 (水平) × 2160 (垂直) HD : 1920 (水平) × 1080 (垂直)
電気特性	
感度	T5.6 (2000 lx、反射率 89.9% にて。 4K/59.94P (8x) の場合)
映像 S/N	HD/59.94i : -62 dB
水平解像度	2000TV 本 (4K : 画面中心) 変調度 5% 以上
幾何学ひずみ	認められず (ただしレンズによるひずみを除く)
光学系仕様	
内蔵フィルター	色温度変換フィルター A : 3200K (素通し) B : 4300K C : 6300K ND フィルター 1 : 素通し 2 : 1/4ND 3 : 1/16ND

入出力端子	
BPU	光電気マルチコネクタ (1)
LENS	12 ピン (1)
VF	20 ピン (1)
AUDIO IN CH1、CH2	XLR 型 3 ピン、凹型 (各 1) AUDIO スイッチ MIC 時 : -60 dBu (メニューまたは HDCU2000/2500 の操作により -20 dBu まで切り換え可能)、 平衡 AUDIO スイッチ LINE 時 : 0 dBu、平衡
INTERCOM 1、 INTERCOM 2	XLR 型 5 ピン、凹型 (各 1)
EARPHONE	ステレオミニジャック (1)
DC IN	XLR 型 4 ピン (1)、DC 10.5 V ~ 17 V
DC OUT	4 ピン (1)、DC 10.5 V ~ 17 V、 最大 0.5 A (ただし、負荷条件、入力条件などにより、 制限される場合があります。) 2 ピン (1)、DC 10.5 V ~ 17 V、 最大 2.5 A (ただし、負荷条件、入力条件などにより、 制限される場合があります。)
SDI 1、SDI 2	BNC 型 (各 1)
SDI-MONI	BNC 型 (1)
TEST OUT	BNC 型 (1)
PROMPTER	BNC 型 (1)、1 Vp-p、75 Ω
PROMPTER2	BNC 型 (1)、1 Vp-p、75 Ω
RET CTRL	6 ピン (1)
REMOTE	8 ピン (1)
TRACKER	10 ピン (1)
CRANE	12 ピン (1)
USB	USB 2.0 タイプ A 4 ピン (1) (USB メモリー接続用)
NETWORK TRUNK	RJ-45 型 8 ピン (1)
付属品	
ご使用になる前に (1 式)	
取扱説明書 (CD-ROM) (1)	
レンズマウントアダプター (1)	
ケーブルクランプベルト (1 式)	
カメラナンバーラベル (1)	
ネジ (+B3 × 8) (2)	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売品／関連機器

別売品

HD エレクトロニック ビューファインダー	HDVF-20A (2 型、白黒) HDVF-200 (2 型、白黒) HDVF-EL20 (0.7 型、カラー) HDVF-EL30 (0.7 型、カラー) HDVF-EL75 (7.4 型、カラー) HDVF-L750 (7 型、カラー) HDVF-L770 (7 型、カラー)
--------------------------	---

大型レンズアダプター	HDLA1500/1505
------------	---------------

大型ビューファインダー アダプター	HDLA1507
----------------------	----------

マイクホルダー	CAC-12
---------	--------

リターンビデオセレクト ター	CAC-6
-------------------	-------

ビューファインダー回転 機構	BKW-401
-------------------	---------

三脚アタッチメント	VCT-14
-----------	--------

低反発ショルダーパッド	A-8286-346-A
-------------	--------------

関連機器

ベースバンドプロセッサユニット	BPU4800
-----------------	---------

カメラコントロールユニット HDCU2000 シリーズ

リモートコントロールパネル RCP-1000 シリーズ

マスターセットアップユニット MSU-1000 シリーズ

マルチポート AV ストレージユニット PWS-4500

プロダクションコントロールステーション PWS-100PR1

USB コントロールデバイス PWSK-4403

カメラシステムマネジメントソフトウェア HZC-CSM10

カメラコントロールネットワークアダプター CNA-1

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

外形寸法

